

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	1000020301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	教育学
時間割コード	1000030301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育というひとが育ちゆくうえでかかすことのできないいとなみについての基礎的なことがらについて学ぶとともに、この社会においてひとが育ち生きていくということがどのようなことであるのかという問いについて考察をおこなっていくことを目的とします。授業では、ひとの生涯にわたる生のありようや育ちおよびそれと教育とのかかわりについて学んでいきます。そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育の基礎的なことがらについて理解し、説明することができる。 (2) ひとの生涯にわたる発達や育ちについて理解し、説明することができる。 (3) ひとが育ちゆくうえでの教育の意義や役割について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末試験(70%)の総合成績で評価する。基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	ひとの生涯にわたる育ちと教育		
3	赤ちゃんはどこまで人間か		
4	ことばの発達と教育		
5	子どもにとって遊びとはなにか		
6	保育・幼児教育をめぐる現代の課題		
7	社会性の発達と教育		
8	10歳の壁とはなにか		
9	学校とはなにか		
10	青年期の課題と教育		
11	社会における教育の諸相		
12	職業・労働と教育		
13	老いることと学ぶこと		
14	発達と喪失		
15	授業のまとめと現代教育の諸問題		

基本情報

科目名	哲学
時間割コード	1000050301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田畑 博敏
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
田畑 博敏

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目「哲学」は、古代ギリシャに始まり、中世・近代のヨーロッパを通じて発達し、現代では世界中の多くの国で研究され学ばれている科目です。日本では、自然科学と同様に、明治時代にヨーロッパから輸入され、現在、多くの大学で教えられています。哲学の特徴は、常に物事の根源にさかのぼって、探究することです。探究の対象は森羅万象、探究手段は理性とことばによる論証です。本講義では、先行の哲学者の考えを参考にして、徹底的に考え抜き、自分なりの意見を表現できる力を養うこと、を目標にします。
履修上の注意事項	講義終了後、本講義で「コミュニケーション・カード」と名づける小ペーパーを提出してもらいます。これには、予習の結果（重要と思われた3つのキーワードを書く）、講義を受けての感想、講義で学んだこと、講義についての注文など、を書いてください。
評価方法	コミュニケーション・カードの提出により「意欲的な受講態度」を評価し（20%）、中間レポートで「基本的理解」の度合いを評価し 30%、最終レポートで「総合的理解と独自の思考力」を確認する（50%）、というやり方で、総合的・全体的に評価します。
テキスト	倉田剛「現代存在論講義：ファンダメンタルズ」新曜社（2017年）¥2200＋税
参考文献	講義の進行に応じて、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	哲学とは何か、何が存在するのか、存在論を概観する：教科書序文および第一講義・第1.1-1.2節		
2	存在のあり方、性質と関係、物とプロセス、部分と集まり：教科書第一講義・第1.3-1.4節		
3	主と普遍者、可能的対象と虚構的对象：教科書第一講義・第1.5-1.6節		
4	存在論の諸区分、領域的VS形式的、応用的VS理論的：教科書第一講義・第2.1-2.2節		
5	形式的存在論VS形式化された存在論、存在論の道具としての論理学：教科書第一講義・第2.3-2.4節		
6	メタ存在論、道具としての論理学（続）：教科書第一講義・第2.5節および「まとめ」、プリント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	世界についてどう語るか、思考と表現、存在への関わり：教科書第二講義・第1.1-1.2節		
8	パラフレーズ、修正的VS解釈的：教科書第二講義・第1.3節		
9	すぐれた理論の条件、単純性と説明力：教科書第二講義・第2.1-2.2節		
10	非クワイン的メタ存在論：教科書第二講義・第2.3-3.1節		
11	非クワイン的メタ存在論（続）：教科書第二講義・第3.3節および「まとめ」		
12	存在者をどのように分類するか？ カテゴリーと形式的因子：教科書第三講義・第1.1-1.2節		
13	4 カテゴリー存在論における形式的関係：教科書第三講義・第2.1-2.2節および「まとめ」		
14	ものが性質を持つということ：教科書第四講義・第1.1-1.3節		
15	実在論の擁護：教科書第四講義・第2.1-2.3節		

基本情報

科目名	法学
時間割コード	1000060301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前・事後学修について 事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活——講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1）——親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2）——婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3）——相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1）——悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2）——クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1）——法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2）——不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000080301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ために、社会理論による現代社会の捉え方について、生活の理解について、人と社会の関係について、社会問題について学び、それらを分析し解決する能力を修得することができる。
履修上の注意事項	ノートを毎回きちんと取る。 授業前にその単元を一度読み自分なりにまとめておき、授業後は教科書とノートを照らし合わせて復習をしておくこと
評価方法	定期試験 80%、授業への取り組む姿勢 20%
テキスト	『社会学入門』秋元他 3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	社会学の歴史と対象	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
2	社会システム	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
3	組織と集団	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
4	人口	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
5	グローバリゼーション	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
6	社会変動・社会変動の概念	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
7	地域	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
8	環境・気候変動	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
9	社会的格差・社会政策と社会問題	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
10	差別と偏見	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
11	災害と復興	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
12	家族とジェンダー	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
13	健康・労働	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	世代	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
15	自己と他者・社会化・相互行為	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

基本情報

科目名	カウンセリング論
時間割コード	0302111201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	忽那 かずみ
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
忽那 かずみ

詳細情報

授業の目的・到達目標	他者援助において基本となる代表的なカウンセリング理論を理解し、それぞれのカウンセリングの実践における本質的な考え方や方法上の相違点を理解することができる。また、それぞれのカウンセリング理論および密接に関係する心理検査の学修やワークを通じて自己理解を深めることができる。
履修上の注意事項	第1回目の講義にて出席に関する重要な説明をします。テキストで事前学習して下さい。講義時間内に心理検査の実施をします。毎回振り返りを行い、理解を深めてください。講義では実際のケースを取り上げたり、具体例を話すことがあります。また、演習・グループワークの中で個人的な話が出されることもありますので、個人情報扱いには細心の注意を払い、絶対に口外してはいけません。演習・グループワークでは、他の人の意見を否定・批判をしない、違う意見も尊重する、発言は最後まで聴く、そして全員が発言することをルールとします。
評価方法	定期試験50%、演習（ディスカッション、グループワーク、授業態度等を含む）20%、振り返りシート（レポートを含む）30%
テキスト	山蔦圭介著、宮城まり子監修『基礎から学ぶ カウンセリングの理論』、産業能率大学出版部
参考文献	必要の都度、指示します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	米国にて臨床心理学者としての勤務経験、日本では臨床心理士、公認心理師として病院、学校、私設（開業）などでの勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと序論		
2	カウンセリングの基礎		
3	カウンセリングの実際		
4	精神分析療法の理論と実際		
5	来談者中心療法の理論と実際		
6	行動療法の理論と実際		
7	論理療法の理論と実際		
8	認知療法の理論と実際		
9	認知行動療法の理論と実際		
10	ゲシュタルト療法の理論と実際		
11	交流分析療法の理論と実際		
12	交流分析療法の理論と実際		
13	箱庭療法とコラージュ療法（切り抜いてもよい雑誌2～3冊、はさみ、のりを持参すること）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	日本の心理療法の理論と実際		
15	カウンセリングと心理検査、カウンセリングと精神疾患		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	陶山 三千也
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
陶山 三千也

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的実施する習慣を身に付けさせ、自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツ・身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを理解し、積極的に楽しく実技科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。実技授業は、運動のできる体育服・運動靴を着用し参加すること、普段着での参加は認めない。体育服は、クラブサークルのユニホームや高校時使用のもので構いません。運動靴は、外履き用と体育館シューズを準備してください。
評価方法	2/3以上の出席者に対して ・自主的学習態度及び出席状況・・・80% ・課題レポートや運動技能等・・・20% 総合評価します。
テキスト	使用しない
参考文献	特に、ありません。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。 ・ベースボール型種目：ソフトボール・フットベースボール ・ネット型種目：バレーボール・バドミントン ・ゴール型種目：バスケットボール

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教科ガイダンス		
2	体力測定 / ソフトボール・フットベースボール ボールの投げ方・捕球の仕方		雨天時の場合は、体育館で体力測定を実施します 反復横跳び、握力、長座体前屈の測定
3	体力測定 / ソフトボール・フットベースボール 守りの連係プレーができるようになる		雨天時の場合は、体育館で体力測定を実施します 上体起こし、立ち幅跳びの測定、測定種目の評価
4	バレーボール 対人でのパスとレシーブができるようになる		
5	バレーボール グループでのパスとレシーブ、サーブができるようになる		
6	バレーボール 攻め守りのフォーメーションができるようになる		

授業計画

九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。

- ・ベースボール型種目：ソフトボール・フットベースボール
- ・ネット型種目：バレーボール・バドミントン
- ・ゴール型種目：バスケットボール

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	バレーボール 3段攻撃を使っのゲームができるようになる		
8	バドミントン 各種フライトを対人で連続して打ち合うことができるようになる		
9	バドミントン サーブとリターンで2つ以上のストロークができるようになる		
10	バドミントン ドロップ→ヘアピン→クリアーを連続で出来るように		
11	バドミントン グループ別リーグ戦ができるようになる		
12	バスケットボール 対人でのパスとグループでのパスワークができるようになる		
13	バスケットボール ドリブルとセットシュート・ランニングシュート・ジャンプシュートができる		
14	バスケットボール チームプレー・コンビネーションプレーができるようになる		
15	バスケットボール ゲームと審判ができるようになる		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120302
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	月 4
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	末松 大喜
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的実施する習慣を身に付けさせ、自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツ・身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを講義で学び理解し、積極的に楽しく演習科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。 演習授業は、運動のできる体育服・運動靴を着用し参加すること、普段着での参加は認めない。
評価方法	自主的学習態度30%、課題レポート20%、出席状況50%による総合評価
テキスト	使用しない
参考文献	「年齢に応じた運動のすすめ」 杏林書院 宮下充正著
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000140301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	池田 裕子
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
池田 裕子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、総合的な英語力の養成を目的とし、読解、文法・語彙力、リスニング・ライティング力を包括した英語の4技能の習得を目指す。学修者は、現代社会の様々な事情について英語で書かれた文章を読むことにより、社会問題についての関心や知見を深めるとともに、自分の意見を英語で伝える実践的なコミュニケーション能力を向上させることができる。
履修上の注意事項	授業前に必ずテキストを読み、語句や文の意味を調べ、設問を解いてくること（90分） 授業中のペアワークや会話練習に積極的に参加すること。
評価方法	授業中の小テスト 30%、定期試験 50%、平常点（授業中の発表・積極性、課題等）20% フィードバックとして小テストや課題にコメントして返却します。
テキスト	Live Escalate Book 1: Base Camp 角山照彦 Live ABC editors 著（株）成美堂
参考文献	随時、補充教材（プリント等）配布
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：英語学習の方法について、英語で自己紹介（グループワーク）	事後学修 自己紹介についてのライティング、口頭発表の練習（90分）	
2	Unit 1 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
3	Unit 2 内容理解、CDによる聞き取り練習、ディスカッション	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
4	Unit 3 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、グループワーク、小テスト	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
5	Unit 4 内容理解、設問演習、復習プリント	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
6	Unit 5 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、グループワーク	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
7	前半の授業のまとめ、小テスト（ライティングを含む）	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
8	Unit 6 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、グループワーク	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
9	Unit 7 内容理解、設問演習、小テスト	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
10	Unit 8 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、グループワーク	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
11	Unit 9 内容理解、設問演習、復習プリント	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
12	Unit 10 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、グループワーク	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	Unit 11 内容理解、設問演習、ディスカッション	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
14	Unit 12 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、グループワーク	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	
15	後半の授業のまとめ、Review プリント	テキストの予習、授業内容の復習（90分）	

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000150301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	角田 俊治
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
角田 俊治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<本シラバスの内容は前年度と変わらないが、講義中に取り扱う設問は同一ではない。> ねらい：主として情報発信能力の向上を目指す。可能な限りの基本的な英語による、福祉や医療に関わるベシ ックなライティングができるようにする。併せて英語圏の国々の社会や文化への関心を深める。 到達目標：基礎的な英語による作文力を身につけ、福祉や医療に関わる一定の情報発信ができる。 。高水準の語 学力を必要とせずとも、それなりの英文が読める。
履修上の注意事項	・上記の展開計画は進捗の状況に応じて一部変更することがあります。（その際は適宜連絡します） ・総て、講義は予習が行われていることを前提として行います。 ・辞書は全授業において必携です。 <本シラバスの内容は前年度と変わらないが、講義中に取り扱う設問は同一ではない。>
評価方法	試験 70%、発表 20%、その他（受講の積極性等）10%。
テキスト	教員自作プリント <プリント中の設問は前年度のものと同じではない。>
参考文献	随時配布
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、英語学習の意義説明等	基本5文型などの文法事項や基本語彙などを確認しておく。90分	
2	ごく簡単な英語を利用しての、自己紹介等のライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
3	ライティングのための基本5文型の説明等	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
4	3を応用しての基本的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
5	福祉や医療に関わる初歩的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
6	5よりも幾分専門性の高い福祉や医療に関わる英語表現を演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
7	リーディング：一流作家が平易な英文で書いた短編小説を原文で読む	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	リーディング： 7 に同じ．併せて、この短編小説のモチーフについて考える	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく．90分	
9	リーディング： 福祉・医療に関わる、やや程度の高い英文を原文で読む	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく．90分	
10	リーディング： 9 に同じ．高度な英語力を必要とせずに、英語の原文を読む練習	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく．90分	
11	福祉、医療、科学一般に関わる、重要で 使用頻度の高い動詞（15個前後）について 解説、演習	プリントの英作文問題について事前に自分 なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
12	1 1 に関わる基本的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分 なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
13	1 1、1 2 に続き、幾分高度なライティ ング演習	プリントの英作文問題について事前に自分 なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
14	1 3 に続き、福祉や医療に関わる幾分高 度なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分 なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
15	1 4 までの講義の補足と総括	プリントの英作文問題について事前に自分 なりの答えを用意して事後に確認する 90分	

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000160301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	水 1
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	Through your active participation and effort, 1. you can improve your English speaking and listening skills through role-play in groups, 2. you can maintain a personal dictionary of the vocabulary learned each week, and 3. you can expand English vocabulary.
履修上の注意事項	Topic-based group discussion and speaking activities based on student preparation. A paper or an electronic dictionary is needed. The schedule and contents are subject to change.
評価方法	Learning attitude 15%, Assignment 30%, Report 15%, Final test 40%
テキスト	In The Driver's Seat. (2016) by Fiona Minami
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
On the basis of the school regulation, students are required to dedicate two hours each to review and prepare for the class.

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Introduction & Unit 1: Food		
2	Unit 1: Food		
3	Unit 2: Money		
4	Unit 3: Future Dreams		
5	Unit 4: Music		
6	Unit 5: Health		
7	Unit 6: Movies		
8	Unit 7: Stress		
9	Unit 8: Personality		
10	Unit 9: Fashion		
11	Unit 10: Crime		
12	Unit 11: Books		
13	Unit 12: Childhood Memories		
14	Unit 13: Sports		
15	Unit 14: Countries & Stereotypes		

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000170301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 2 学期
曜限	他
開講区分	第 2 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	
履修上の注意事項	
評価方法	
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	1000230301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、利活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。また、講義中はノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森）、教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力、段落設定、段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線、図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画、曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本／図書館）、インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル、情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力、表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動、絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え、フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	生命倫理
時間割コード	1000240301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命に関する倫理的諸問題について、人はどのように対処すべきだと考えられるかについて理解する。先端医療を始めとするバイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵とそれにもとない問われることになった生命の意味について、基本的概念とその問題点の学びから生命倫理学に関心をもち、保健・医療・福祉の従事者としての考えを深められるようになる。
履修上の注意事項	レポート発表、グループワークを行うので積極的に授業に参加をすること。課題に対して自分の意見を準備しておくこと。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。
評価方法	定期試験：60%、学習態度・状況（レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹編）世界思想社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は病院等においての理学療法士、鍼灸士、看護師、助産師、学校においての養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画
オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、現代社会と生命倫理：生命の質（柴田）	オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。	
2	インフォームド・コンセント（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
3	尊厳死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
4	安楽死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
5	終末期ケア（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
6	小児期の医療・保健と生命倫理（二宮）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
7	周産期医療と生命倫理（松本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
8	医療資源の配分（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

授業計画

オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	パーソン論（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
10	ケアと生命倫理（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
11	パターナリズムと患者の権利（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
12	自律とwell-being（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
13	専門職の役割・責務（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
14	倫理の源を考える：規範倫理学の時代（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
15	倫理の源を考える：応用倫理学の発展（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000260301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学と物理学の基礎を理解し、問題演習を通して「数学的思考」や「科学的思考」ができるようになることを目指します。 本講義では、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けます。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。 また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をして、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断します。配点は、レポート30%、試験70%と考えています。再試験は行ないます。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム数と演算		
2	算術平均，加重平均；幾何平均		
3	比・連比，比率（静的・動的）		
4	指数関数とその性質		
5	対数関数とその性質		
6	経験的確率と理論的確率		
7	2項分布とポアソン分布		
8	条件付き確率，期待値		
9	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
10	力のモーメント、挺子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
11	身体の構造と挺子、重心と安定性		
12	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
13	重力と重力加速度、一様重力による運動		
14	等速円運動、単振動、波		
15	運動量と運動量保存則、はね返り係数		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000270301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、化学および生物学の基礎的な内容について学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学など）の理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で化学や生物学を履修していない学生には受講を強く勧める。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素と原子	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	酸と塩基	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	pHと緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	DNA・遺伝子・染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
15	代謝と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	アカデミックスキルズ
時間割コード	1000280301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
安藤 学、野崎 和義、森 信之、檜枝 洋記、高 継芬、後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、自分の頭で考え、問題・課題を見つけて解決する能力、また、物事を論理的に、思考し、読み解き、伝える能力を養う。
履修上の注意事項	「教えてもらう」ではなく、「積極的に学びとる」気持ちを持って授業に臨んでください。
評価方法	課題レポート70%、発表30%。 課題レポート等に対して、授業の中で担当教員および履修生からコメントする。
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（檜枝）		
2	要するに言いたいことは何か（檜枝）		
3	言いたいことが伝わる表現か（檜枝）		
4	誤解していないか（檜枝）		
5	文章の構成（安藤）		
6	文章の展開（安藤）		
7	「話す」と「書く」の違い（高）		
8	伝える相手を意識する（高）		
9	表現の質を高める（後藤）		
10	読み書きの実践（後藤）		
11	論理的思考・表現の基礎（森）		
12	論理的に考える（森）		
13	発想を広げる（森）		
14	自由とは何か（野崎）		
15	自然科学と人文・社会科学（野崎）		

基本情報

科目名	在宅療養支援チーム協働論
時間割コード	0332001701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目（選必1）

担当教員情報

教員名
福本 久美子

詳細情報

授業の目的・到達目標	・保健医療福祉の対象者「在宅療養者」を、疾病や障害を抱えながら在宅生活を継続する生活者としてとらえることができる。 ・保健医療福祉職の対象者「在宅療養者」に対し、個別的・包括的な支援が提供できるよう、関係者や関係機関の連携や協働の在り方について理解することができる。 ・本科目は、学びの最終学年として、地域包括ケアシステムの構築のために、在宅療養支援チームの一員として協働の在り方を考え、その役割について具体的なイメージを抱くことができる。
履修上の注意事項	・本科目の履修によって、卒業後の実践イメージができるよう、予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。
評価方法	レポート100% レポート提出先：Campas Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	特になし。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子：保健師・看護師としての実務経験 生野繁子：看護師としての実務経験 大池貴行：理学療法士としての実務経験 上田智之：看護師としての実務経験 田口太郎：鍼灸師としての実務経験 中川武子：看護師・保健師としての実務経験 田中康子：看護師としての実務経験 十時彩：歯科衛生士としての実務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	「在宅療養支援チーム協働論」の目的・展開方法について（福本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
2	「地域包括ケアシステム」の構築に対する住民の期待と専門職（生野）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
3	在宅療養の対象者の人権について（野崎）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
4	社会で起こっている出来ごと「在宅療養生活者の健康格差」（中川）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
5	在宅療養を送る当事者からのメッセージ（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	在宅療養を送る当事者家族からのメッセージ（福本:特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者家族
7	在宅療養支援を行う各専門職とその協働（田中）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
8	在宅療養支援を行う専門職の役割「看護職」（上田）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	在宅療養支援を行う専門職の役割「福祉職」（橋本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	在宅療養支援を行う専門職の役割「理学療法士」（大池）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	在宅療養支援を行う専門職の役割「鍼灸師」（田口）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
12	在宅療養支援を行う専門職の役割「歯科衛生士」（十時）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
13	在宅療養支援を行う専門職の役割「保健師」（未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
14	在宅療養支援を行う専門職の役割「医師」（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、地域包括ケアの提供リーダーとしての医師
15	まとめ：「地域包括支援システムにおける在宅療養支援チーム協働」の在り方について（福本、他）	14コマまでの振り返りと事前学習（2時間）、事後は全体を振り返り、自身の考えをまとめること（2時間）	

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000330301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	肥後 成美
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体の構造を巨視的（個体・臓器）、微視的（組織・細胞・分子）に観察することで、体の仕組みを学習することができる。 医療従事者として、これらの習得した基本的知識と「生」とを繋げることができる。 特定の教科書に沿った説明はせず、講義内容・配布資料を積み重ねることで一冊の新しい教科書（ダイジェスト版）が完成するような内容を目指す。
履修上の注意事項	講義に興味を持つためには内容の理解、そのためには毎回の予習・復習が不可欠です。 毎回授業始めには、前回の内容についての質問を行うことで、学生の理解度を確認している。
評価方法	期末試験で判断する。
テキスト	講義で使用したスライドと同じ内容のプリント資料を配布する。講義終了時にはこれが教科書となると思う。 講義中は教科書を指定することはせず参考文献のみを挙げる。
参考文献	「入門 人体解剖学」南江堂、「解剖生理学 人体の構造と機能[1]、坂井建雄・岡田隆夫/編集、医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	解剖生理学総論（歴史、人体構築レベル：原子から器官系まで、細胞の構成）		
2	解剖生理学総論（細胞分裂、遺伝子、外皮系：皮膚の構造）		
3	解剖生理学総論（骨格系、神経系、循環系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖系）		
4	解剖生理学総論（組織とその分類：上皮組織・支持組織・骨組織）		
5	解剖生理学総論（組織とその分類：筋組織・神経組織）		
6	筋系（筋と骨格：関節の構造・筋細胞の構造）		
7	筋系（筋と骨格：筋細胞の生理学）		
8	頭部骨格系（頭蓋骨の構成と名称）		
9	頭部骨格系（鼻腔・副鼻腔、咽頭・喉頭部）		
10	椎骨の構成と名称（頸椎、胸椎、腰椎、仙椎、尾椎）		
11	頭頸部の筋（表情筋、咀嚼筋、咽頭部筋）、頭頸部の筋（斜角筋群		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	浅背部筋（肩甲骨周辺）、呼吸筋：胸部筋（大・小胸筋、前鋸筋など）、肋間筋		
13	喉頭部筋（声帯周辺部）、外眼筋		
14	循環器系（心臓の構造、動態、心電図）		
15	循環系（頭部血管、全身血管の走行）		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000340301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	生き物が生きていく仕組み(生理学)を原子、分子、細胞、組織、器官および個体レベルで学習します。教科書に準拠して講義を進めるので、十分に教科書を読んで下さい。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して、他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)
評価方法	期末試験(100%)により判定する。
テキスト	解剖生理学(人体の構造と機能[1])、坂井建雄、岡田隆夫 医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	栄養の消化と吸収1 口・咽頭・食道・胃の構造と機能		
2	栄養の消化と吸収2 小腸・大腸の構造と機能		
3	栄養の消化と吸収3 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
4	呼吸と血液の働き1 呼吸器の構造と呼吸運動		
5	呼吸と血液の働き2 ガス交換とガスの運搬、呼吸運動の調節		
6	呼吸と血液の働き3 血液の組成と機能		
7	体液の調節と尿の生成1 腎臓の構造、糸球体・尿細管・傍糸球体装置		
8	体液の調節と尿の生成2 糸球体濾過、クリアランスと、排尿の機序、体液の調節		
9	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達		
10	自律神経による調節		
11	内分泌による調節1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体、甲状腺、膵臓、副腎		
12	内分泌による調節2 甲状腺・副甲状腺、ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
13	情報の受容と処理1 中枢神経の構造と機能、末梢神経の構造と機能		

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	情報の受容と処理 2 脳の高次機能、運動機能、感覚機能、特殊感覚の構造と機能		
15	身体機能の防御と適応 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		

基本情報

科目名	生活栄養学
時間割コード	1000360301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	○食べ物と健康という観点から、基礎栄養学、食物の消化・吸収、栄養素の特徴や役割、臨床栄養学面から 疾病と栄養の関連について理解し、自らが幅広い視野と知識を身につけ実践する事、特に食事や栄養に関する情報量が急増している中、自身や人々の健康の維持増進に努めてもらう事が出来る。また、医療専門職として、 様々な身体的状況にある人々に接する際に、自身が学んだ食・栄養面の知識を、効果的に行う技法や体験を活かし、サポートすることで自らも健康的な食生活が実践出来るようになる。
履修上の注意事項	履修の中で、各単元の理解を把握するために演習課題を出すので、授業前に テキストと配付資料、テキストの副読本としての「栄養学整理ノート」を読み事前に必ず予習をして習をし講義を受講すること
評価方法	期末試験（筆記）95% 学習態度5%（出席日数・私語が多くて注意を受けたとき
テキスト	「わかりやすい栄養学 第4版 -臨床・地域で役立つ食生活指導の実際-」ヌーヴェルヒロカワ
参考文献	わかりやすい栄養学（三共出版）基礎栄養学（第一出版）日本人の食事摂取基準（2015年版）七訂補日本 食品成分表 国民衛生の動向30年版 糖尿病の食品交換表 腎臓病の食品交換表、応用栄養学（医歯薬出版）
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(栄養の基本概念(栄養とは 健康と栄養評価 食行動と管理目標)		
2	食生活の課題(食と健康 食と健康 食文化)		
3	日本人の食事摂取基準		
4	栄養指導・保健指導(栄養指導の過程と栄養スクリーニング)		
5	食物と栄養(栄養素とその働き)(1)炭水化物の種類、エネルギー		
6	食物と栄養(栄養素とその働き)(2)脂質・たんぱく質		
7	食物と栄養(栄養素とその働き)(3)ビタミン・無機質		
8	食物の摂取と消化・吸収 (食欲・消化の調節・栄養素の吸収)		
9	ライフステージと健康教育(妊娠・授乳期・乳幼児期・)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	ライフステージと健康教育（学童期・思春期）		
11	ライフステージと健康教育（成人期・老年期）		
12	疾患別食事指導の実際（１）糖尿病、高血圧、脂質異常症		
13	疾患別食事指導の実際（２）虚血性心疾患 脳卒中等		
14	疾患別食事指導の実際（３）慢性腎臓病 摂食嚥下障害等		
15	経管栄養と中心静脈栄養（栄養療法 経腸・静脈栄養法・栄養管理におけるチームアプローチ）		

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0302201001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヒトと共生する常在菌叢の働き,ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し,さらに代表的な感染症について,その感染経路,症状,予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また,生体防御機構,各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに,耐性菌,新興感染症・再興感染症の出現,日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに,がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として、教科書を熟読する。『わかる!身につく!病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』-第2章,3章,4章-(第7-15回に使用)(約1時間) 2) 授業には指定教科書,ノート,プリントを持参する。講義内容を書留め、その日の内に復習する(約1時間)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語を正確に覚え、その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は、教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 配点: 第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして、授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編, 南山堂3,080円 2) 教員作成プリント 3) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』 吉岡 他著, 医学書院 2,530円(薬理学でも使用する)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4微生物学』 南嶋 他著, 医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』 安原 他編, ニューヴェルヒロカワ 3) 『コメディカルのための薬理学 第3版』 渡邊 他編, 朝倉書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き (三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	ウイルスと感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	寄生虫・原虫と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	感染に対する生体防御機構(免疫系)、予防接種用薬(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	感染症に対する薬物（化学療法薬概論）、薬物動態（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗菌薬（合成抗菌薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0302201101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（1時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（1時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。 2) 「薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著、医学書院（感染症学で使用した教科書） 2) 教員作成プリント
参考文献	1) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編、朝倉書店 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編、ヌーヴェルヒロカワ 3) 『今日の治療薬2021』浦部他編、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、関係法規、薬物の作用点）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物相互作用）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物動態）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢・臓器障害等による薬物動態変化、剤形）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	末梢神経系作用薬（筋弛緩薬、局所麻酔薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（抗不整脈薬、心不全治療薬、狭心症治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	循環器系作用薬（高血圧治療薬、末梢血管作用薬、利尿薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・躁薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	中枢神経系作用薬（抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、麻薬性鎮痛薬、中枢興奮薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	炎症・免疫疾患に対する薬物（抗炎症・抗アレルギー薬、免疫抑制薬、免疫増強薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	呼吸器系疾患に対する薬物（気管支喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳・去痰薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消化器系疾患に対する薬物（消化性潰瘍治療薬、他）、泌尿器系疾患に対する薬物（排尿障害治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	代謝・内分泌系疾患に対する薬物（糖尿病治療薬、痛風治療薬、他）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	医用工学
時間割コード	0302201201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	放射線を用いた診療の目的・内容・方法をよく理解し、医療従事者として適切な前処理や患者指導、介助を行うことで十分な診療情報が得られ、治療効果の向上に繋がる。その実践のため、放射線医学(画像診断、放射線治療、放射線被曝)の基礎・応用に関する知識を身につけ、放射線の臨床利用について説明できるようになる。 臨床検査の基礎知識と意義を学ぶ。患者の状態を正しく診断するうえで不可欠の手段となっている臨床検査の全体像と意義を総合的に理解するとともに、医療従事者の役割を正しく把握し、説明できるようになる。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語・測定値の単位を正確に覚え理解すること。理解できない内容は質問すること。 4) 「放射線と臨床利用」には『臨床放射線医学』を、「臨床検査」には『臨床検査』の教科書を持参のこと。
評価方法	1) 「授業のねらい」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 放射線と臨床利用50%、臨床検査50% 2) 各担当の最後の授業で、内容に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 第9版』青木 他著、医学書院 2,420円 2) 『系統看護学講座別巻 臨床検査 第8版』奈良 他編、医学書院 2,420円 3) 教員作成プリント
参考文献	『臨床検査法提要』改訂版 金井 編著、金原出版 『系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学』坂井 他著、医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	羽手村：臨床検査技師として病院勤務経験

授業計画

授業計画

[授業内容]

[授業担当者]

- .放射線と臨床利用
- 1.放射線概論：放射線の特性、医療被曝、放射線防護を正しく理解する。
また、放射線診療のあり方と実際の診療内容の知識を得る。 羽手村
 - 2.放射線画像：放射線画像の成立過程を理解し、いろいろな画像検査の目的と方法を習得する。 肥合
 - 3.放射線画像検査：MRI検査と超音波検査の原理と特徴を理解し、実際の診療内容を知る。 肥合
 - 4.放射線画像検査：CT検査の原理と特徴を理解し実際の診療内容を知る.また造影剤の特性も
理解する。 羽手村
 - 5.核医学検査：放射性同位元素を用いた核医学検査の特徴を理解し、実際の診療内容を知る。 肥合
 - 6.放射線治療学：悪性腫瘍の治療における放射線療法の役割について理解し、放射線治療の原理
(メカニズム)と実際の照射技術や放射線治療の副作用、最新の放射線治療法に 荒木
ついて解説する。
 - 7.放射線治療学：疾患ごとの放射線治療について解説する。 荒木
- .臨床検査
(1年次 第1学期に学んだ解剖生理学の内容をしっかりと復習していることを前提に授業を展開する。)
- 8.臨床検査総論：臨床検査の種類およびその役割と評価基準 徳富
 - 9.臨床検査総論：臨床検査の流れと看護師の役割、検体採取、保存法、感染防止、
系統別臨床検査の進め方 徳富
 - 10.臨床検査各論：一般検査
 - 11.臨床検査各論：血液学的検査、化学検査
 - 12.臨床検査各論：免疫・血清学的検査、内分泌学的検査
 - 13.臨床検査各論：微生物学的検査、病理学的検査
 - 14.生理機能検査：循環機能検査 徳富
 - 15.生理機能検査：呼吸機能検査、神経機能検査 徳富

各回の事前・事後学修（教科書の予習、講義の復習）をそれぞれ2時間程度行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	国際協力論
時間割コード	1000370301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学、川原 英照、川原 光祐、久家 誠司

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。今日、貧困・教育・紛争・環境破壊・エイズ・食糧問題など地球規模の諸問題はますます深刻な状況にあります。このような問題は、私たち日本人にとっても遠い国の問題ではありません。私たちも国際社会の一員として世界の国々と協調連帯して国際協力を推進するための能力を修得することができる。
履修上の注意事項	オムニバスであるので、毎回の出席を心がける。事前に出され課題について調べて授業に臨むことと、授業後に授業前に出された課題と授業で学んだ内容について比較して復習をすること。
評価方法	レポート(80%コメントして返却します。) 授業への取り組み20%
テキスト	資料を準備する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川原英照 れんげ国際ボランティア会 会長 川原光祐 れんげ国際ボランティア会 常務理事 久家誠司 れんげ国際ボランティア会 事務局長

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容について復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	国際協力とは何か(安藤)		
2	政府開発援助(安藤)		
3	政府開発援助の事例(安藤)		
4	NGOによる民間協力(安藤)		
5	NGOによる民間協力の事例(安藤)		
6	技術協力の方法(川原光祐)		
7	技術協力の方法の事例(久家)		
8	参加型開発(久家)		
9	参加型開発の事例(久家)		
10	国際協力の理念(久家)		
11	国際協力の理念の事例(久家)		
12	国際協力の事例(民間)(久家)		
13	国際協力の事例(政府)(安藤)		
14	国際理解と支援活動(安藤)		
15	今後の国際協力のあり方(安藤)		

基本情報

科目名	機能解剖学
時間割コード	1000760301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆、中野 聡太

詳細情報

授業の目的・到達目標	人(人体)について知識さらに医療現象把握のための基礎力をつけるために、理学療法(評価・治療)を実施する上で必要な運動機能に関わる骨・関節の構造と機能を理解し説明できるようになる。
履修上の注意事項	触診のため上肢、脊柱の講義の際はTシャツなどの薄手の者を着用し、下肢の際は短パンを着用すること。十分な予習、復習を行うこと。
評価方法	レポート、発表、小テスト、受講態度などの日常的学习成果(30%)、定期試験成績(70%)を総合して評価。
テキスト	坂井建雄・他監訳、プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器、医学書院 ヒントレ研究所編、PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編 改訂第2版、南江堂
参考文献	中村隆一編、基礎運動学、医歯薬出版 竹内修二著、解剖学トレーニングノート、医学教育出版社 河合良訓監修、ホネタン骨単、(株)エヌ・ティー・エス
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	岡田・中野：臨床を通し解剖学に関する実務経験を有する。

授業計画

授業計画
・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間)。 事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(講義の流れ等の説明)、股関節の骨構造と連結 (岡田)		
2	股関節の骨構造と連結 (岡田)		
3	股関節の骨構造と連結 (岡田)		
4	膝関節の骨構造と連結 (岡田)		
5	膝関節の骨構造と連結 (岡田)		
6	足部の骨構造と連結 (岡田)		
7	足部の骨構造と連結 (岡田)		
8	肩関節の骨構造と連結 (中野)		
9	肩関節の骨構造と連結 (中野)		
10	肘関節の骨構造と連結 (中野)		
11	肘関節の骨構造と連結 (中野)		
12	手部の骨構造と連結 (中野)		
13	手部の骨構造と連結 (中野)		
14	脊柱・体幹の骨構造と連結 (中野)		
15	脊柱・体幹の骨構造と連結 (中野)		

基本情報

科目名	機能解剖学
時間割コード	1000770301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	人(人体)について知識さらに医療現象把握のための基礎力をつけるために、理学療法(評価・治療)を実施する 上で必要な運動機能に関わる筋と運動神経の構造と機能を理解し説明できるようになる。
履修上の注意事項	理学療法士に必修となる内容であることから、事前の予習と復習に心がけること。また、触診が可能な服装(短パン等)での参加とする。具体的なものについては、その都度提示する。
評価方法	レポート、発表、小テスト等の日常的学習成果(30%)と期試験成績(70%)を総合して評価、もしくは定期試験成績を100%として評価する。
テキスト	野村嶺監訳：骨格筋ハンドブック原書第3版 機能解剖からエクササイズまで一目でわかる：南江堂 河合良訓監修：ニクタン肉単：(株)エヌ・ティー・エス
参考文献	プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論 運動器系 医学書院 河合良訓監修
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間)。 事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	総論・各論1 股関節に関わる筋1(岡田)		
2	各論2 股関節に関わる筋2(岡田)		
3	各論3 股関節に関わる筋3(岡田)		
4	各論4 膝関節に関わる筋1(岡田)		
5	各論5 膝関節に関わる筋2(岡田)		
6	各論6 足関節および足部に関わる筋1(岡田)		
7	各論7 足関節および足部に関わる筋2(岡田)		
8	各論8 肩甲上腕肩関節に関わる筋1(中野)		
9	各論9 肩甲上腕肩関節に関わる筋2(中野)		
10	各論10 肩甲胸郭関節に関わる筋(中野)		
11	各論11 肘関節に関わる筋1(中野)		
12	各論12 肘関節に関わる筋2(中野)		
13	各論13 手関節および手指に関わる筋1(中野)		
14	総論14 手関節および手指に関わる筋2(中野)		

授業計画

・ 各回について以下のように事前・事後の学習を行う。

事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（ 2 時間）。

事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（ 2 時間）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	各論 1 5 胸郭・脊柱関連組織(中野)		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000390301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体の構造を巨視的（個体・臓器）、微視的（組織・細胞・分子）に観察することで、体の仕組みを理解できる。特に解剖生理学IIIでは中枢神経系の理解に重点が置かれるので、それらの知識を元に脳の構造と機能を結びつけることができる。医療従事者として、これらの基本的知識の習得が「生」「心」を考えることに繋げていく。特定の教科書に沿った説明はせず、講義内容・配布資料を積み重ねることで一冊の新しい教科書（ダイジェスト版）が完成するような内容を目指す。
履修上の注意事項	耳慣れない専門用語を受け入れるためにも、予習・復習は必須です。毎回授業始めには、前回の内容についての質問を行うことで、学生の理解度を確認している。
評価方法	期末試験の成績で判断する。
テキスト	講義で使用したスライドと同じ内容のプリント資料を配布する。講義終了時にはこれが教科書となると思う。教科書を指定することはせず参考文献のみを挙げる。
参考文献	「標準理学療法学・作業療法学 解剖学」野村儀/編集、医学書院、「入門人体解剖学」藤田恒夫/編集、南江堂
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	循環器系（上肢・下肢血管の走行、泌尿器系の血管走行）		
2	循環器系（リンパ系、血液、免疫）		
3	呼吸器系（鼻腔の構造、喉頭・声帯の構造）		
4	呼吸器系（気管・気管支、肺の構造）		
5	循環器系（肺胞、酸素供給の仕組み、呼吸の神経性調節、呼吸器障害）		
6	消化器系（口腔：舌・唾液腺の構造、咽頭の構造、嚥下作用）		
7	消化器系（食道の構造・機能、胃の構造・機能）		
8	消化器系（胃酸分泌の調節機構、十二指腸、結腸）		
9	消化器系（門脈、直腸と排便機構、肝臓・胆嚢・膵臓）		
10	内分泌系（ホルモンの定義、視床下部と脳下垂体との関係）		
11	内分泌系（脳下垂体前葉・後葉ホルモン、甲状腺ホルモン）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	内分泌系（上皮小体、膵臓、インスリンの作用、カルシウム代謝）		
13	内分泌系（副腎皮質、副腎髄質、性ホルモン）		
14	泌尿器・生殖器系（腎臓の構造・働き）		
15	泌尿器・生殖器系（腎系球体・尿細管の構造と働き、尿管、膀胱、尿道、排尿のメカニズム）		

基本情報

科目名	解剖生理学演習
時間割コード	0302300401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美、中野 聡太

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体の構造を立体的に観察し、それぞれの局所構造と全体との関係を理解することで、生きるための営みを1つの流れの中で把握できるようになる。このことを元に障害を持つ人たちの最良の支援につなぐと考えに至ることができる。骨格観察に際しては、熊本大学から預かり保管している人体骨格標本を使用する。また、熊大医学部でのご遺体の観察機会も得ている。
履修上の注意事項	知識で裏打ちされた状態で、積極的に演習に参加して欲しい。演習は全回出席が前提。座学が中心となる講義内容に対しては、予習・復習を毎回行うことで確たる知識を身に付けるよう心掛けること。
評価方法	標本スケッチ、レポートを総合的に判断する。
テキスト	適宜資料を配付する
参考文献	「入門人体解剖学」南江堂
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	系統発生学（担当：中野）		
2	個体発生学（担当：中野）		
3	ヒトと他動物種との解剖学的比較（担当：中野）		
4	排卵から受精、着床、胚盤形成、胚子期過程、中枢神経系の形成過程（担当：肥後）		
5	視覚経路、聴覚経路の発生、仕組み（担当：肥後）		
6	全身骨格の作成（骨格標本を全身構造に準えて並べ、観察）		
7	体幹骨格の観察（椎骨、骨盤、肋骨、鎖骨、肩甲骨など）		
8	頭蓋骨の観察（頭蓋冠、上顎骨、下顎骨、副鼻腔・鼻腔の観察など）		
9	上肢骨格（上腕骨、橈骨、尺骨、手根骨、手指骨）		
10	下肢骨格（大腿骨、脛骨、腓骨、足根骨、足指骨）		
11	体幹筋、四肢筋、頭部筋の観察		
12	内臓（消化器、呼吸器、泌尿生殖器系）		
13	心臓、脈管系、末梢神経の観察（脊髄神経）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	中枢神経を支配する血管、髄膜、脳神経の観察		
15	中枢神経系の観察（脳幹、脊髄、終脳、間脳）		

基本情報

科目名	解剖生理学特講
時間割コード	0333000501
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美、大池 貴行、中野 聡太、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法士として求められる解剖生理学分野における専門知識および技術について、これまで学んできた知識・技術を再確認し、整理・蓄積することを目的とする。
履修上の注意事項	履修においては十分な予習復習を行うこと
評価方法	学内模試・学外模試の結果をもとに評価する。
テキスト	各領域でこれまで使用したテキストおよび配布資料を整理し、持参すること。 その他は適宜連絡する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	運動生理学
時間割コード	1000780301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松本 直幸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
松本 直幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	外部環境の受容、生体内の情報伝達手段など神経系のはたらきの理解も深めながら、運動の呼吸循環器系や代謝系、さらには脳への影響について、そのメカニズムの理解を深める。それによって、自分自身の生活場面や健康科学分野の現場での応用力の向上を目指す。学修者は、人体のしくみとはたらきについて、理学療法士として運動生理学的観点から自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	毎回資料を配付する。予習および復習を習慣づけて欲しい。
評価方法	期末筆記試験による(100%)
テキスト	受講にテキストは必須ではないが、自学のために以下の参考文献を推薦する。
参考文献	「運動生理学」 麻見直美、川中健太郎 編著 羊土社
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	概要 -なぜ運動生理学を学ぶのか-	（事前）生理学とはどのような学問か調べておく（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理（2時間）	
2	運動時のエネルギー供給	（事前）教科書やインターネットでATP産生システムについて予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
3	ダイエットに運動は必須か？	（事前）教科書やインターネットで生体のエネルギー代謝について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
4	酸素摂取量とトレーニング効果	（事前）教科書やインターネットで酸素摂取量について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
5	筋収縮のしくみ	（事前）教科書やインターネットで筋の構造とはたらきについて予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	筋トレの生理学	（事前）教科書やインターネットで筋肥大のしくみについて予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
7	脂肪と筋肉	（事前）教科書やインターネットで神経伝達物質や生理活性物質について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
8	姿勢や運動の制御 - 脊髄反射と小脳 -	（事前）教科書やインターネットで脊髄反射について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
9	パフォーマンスと健康のための糖質摂取法	（事前）教科書やインターネットで運動時の糖質利用について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
10	スポーツ・健康と食事管理	（事前）教科書やインターネットでスポーツ選手とサプリメントについて予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
11	睡眠の生理学	（事前）教科書やインターネットで睡眠と健康について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
12	脳のはたらきを覗く	（事前）教科書やインターネットで脳の構造について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
13	運動と脳の健康	（事前）教科書やインターネットで運動と認知症について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
14	視覚系のはたらき	（事前）教科書やインターネットでヒトの感覚システムについて予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	
15	心は見えるか	（事前）教科書やインターネットで実験心理学について予習（2時間） （事後）資料とノートの見直し、専門用語の整理、学習した生理現象を自分の言葉で説明できるまで復習（2時間）	

基本情報

科目名	人間発達学
時間割コード	1000790301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉田 勇一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
吉田 勇一

詳細情報

授業の目的・到達目標	ねらい：乳幼児期の運動発達を中心に学習する．特に小児理学療法を実施する際に必要となる．到達目標：小児期の正常発達を理解し、発達時期に応じた特徴を説明できるようになる．
履修上の注意事項	小児理学療法学、小児理学療法学演習の基礎となる科目。予習内容は授業で指示するので、教科書や配布資料で予習しておくこと。記憶する項目が多いため、授業終了後に必ず復習すること。また授業中や予習復習の時に疑問が生じた場合には速やかに申し出ること。
評価方法	期末試験を80%、レポート20%で評価する。
テキスト	上杉雅之(監修)：イラストでわかる人間発達学，医歯薬出版株式会社． 上杉雅之(監訳)：乳幼児の運動発達検査—AIMSアルバータ乳幼児運動発達検査法，医歯薬出版株式会社．
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉田 勇一：小児施設での勤務経験あり

授業計画

授業計画
小児理学療法学、小児理学療法学演習の基礎となる科目。予習内容は授業で指示するので、教科書や配布資料で予習しておくこと。記憶する項目が多いため、授業終了後に必ず復習すること。また授業中や予習復習の時に疑問が生じた場合には速やかに申し出ること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション．授業の特徴や進め方について		
2	妊娠から出生まで、胎児の発達		
3	生後の評価、神経系の発達(髄鞘化)		
4	発達の概念		
5	新生児期の運動評価		
6	反射・反応；反射弓の理解、原始反射、中脳レベルの反応		
7	反射・反応；中脳レベルの反応、大脳皮質レベルの反応		
8	0～3ヵ月の発達		
9	4～6ヵ月の発達		
10	7～9ヵ月の発達		
11	10～12ヵ月の発達		
12	12ヶ月以降の運動発達		
13	発達のまとめ		
14	巧緻動作、視覚、口腔機能の発達		
15	感覚、認知の発達		

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	1000800301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明し、病理学は、疾病の原因、機序、診断を明らかにする学問である。病態生理学では、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験(100%)で、正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できるかを評価する。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」大橋健一ほか著、医学書院
参考文献	1) なるほどなっとく!病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂 2) シンプル病理学 改訂第8版。笹野 他編、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因(内因、外因)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	細胞・組織の障害と修復	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	循環障害 : 局所性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	循環障害 : 全身性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	炎症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	免疫と免疫不全	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
9	代謝障害 : 脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	代謝障害　：糖代謝障害、その他の代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	先天異常と遺伝子異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍　：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍　：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	腫瘍　：腫瘍の診断と治療、腫瘍の統計	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0302300901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大河原 進

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくること。復習も必ず行うこと。解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性（5%）、筆記試験（95%）で総合的に評価する。60点以上を合格とする。フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	呼吸器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
2	呼吸器 呼吸器感染症、アレルギー、慢性閉塞性疾患、間質性肺疾患、気道系疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
3	呼吸器 腫瘍、肺循環疾患、換気異常、呼吸不全、胸膜疾患、縦隔疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
4	循環器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	循環器 心不全、不整脈、心筋疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	循環器 心臓弁膜症、先天性心疾患、高血圧症、動脈疾患、静脈疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	消化管 症候、検査と治療、食道の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	消化管 胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肛門の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	肝・胆・膵 症候、検査と治療、肝臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	肝・胆・膵 胆道疾患、膵臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	代謝・栄養 症候、検査と治療、糖尿病他の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	内分泌 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	内分泌 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	腎・泌尿器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
15	腎・泌尿器 腎疾患、泌尿器疾患、腎不全	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0302301001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大河原 進

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学 に引き続き、臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関した基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくる。復習も必ず行うこと。 解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性（5%）、筆記試験（95%）で総合的に評価する。総合点60点以上を合格とする。 フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	脳・神経 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
2	脳・神経 脳血管障害、神経変性疾患、中枢神経系の脱髄性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
3	脳・神経 末梢神経等の疾患、筋疾患、感染症、機能性疾患、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
4	血液 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	血液 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	膠原病・アレルギー 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	膠原病・アレルギー 膠原病と関連疾患、アレルギー性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	運動器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	運動器 外傷、骨折、脱臼、捻挫	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	運動器 脊椎・脊髄の疾患、上肢・下肢の疾患、腫瘍、末梢神経麻痺	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	女性生殖器 月経困難症、子宮内膜症、腫瘍、更年期障害、不妊症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	眼 症候、検査と治療、結膜炎、緑内障、白内障、糖尿病性網膜症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	耳鼻咽喉 症候、検査と治療、中耳炎、めまい／難聴、副鼻腔炎、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	皮膚 症候、検査と治療、皮膚炎、色素性母斑、熱傷、褥瘡	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
15	精神 症候、検査と治療、統合失調症、うつ病、双極性障害	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

基本情報

科目名	精神医学
時間割コード	1000810301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美

詳細情報

授業の目的・到達目標	脳の基本構造を把握し、個々の部位の総合作用として我々の精神が発動しているということを理解できる。脳の構造と機能を結びつけることで、精神障害の病態像、治療法などに対するより深い理解力を育むことができる。そのことが障害を持つ人たちと接する医療者としての適格な人間形成にもとつなげることができる。特定の教科書に沿った説明はせず、講義内容・配布資料を積み重ねることで一冊の新しい教科書（ダイジェスト版）が完成するような内容を目指す。
履修上の注意事項	耳慣れない専門用語を受け入れるためにも、予習・復習を行い授業に臨むこと。毎回授業始めには、前回の内容についての質問を行うことで、学生の理解度を確認している。
評価方法	期末試験の成績で判断する。
テキスト	講義で使用したスライドと同じ内容のプリント資料を配布する。講義終了時にはこれが教科書となると思う。よって、教科書を指定することはせず参考文献のみを挙げる。
参考文献	「神経解剖カラーテキスト」A.R.Crossman,D.Neary/編集、野村儀・水野昇/訳、医学書院、「精神医学テキスト」上島国利・立山萬里/編集、南光堂、「標準理学療法学・作業療法学 精神医学」上野武治/編集、医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	精神医学序論（精神医学の方法論、脳の構造、精神の座）		
2	精神医学序論（大脳皮質の発生・構造、機能局在）		
3	精神医学序論（ニューロンの構造、シナプス、神経伝達物質）		
4	精神医学序論（ニューロンの活動電位、脳室、大脳皮質分布動脈の走行と支配領域）		
5	精神医学序論（分離脳、前頭葉の働き）		
6	精神医学総論（歴史、精神医学における症状）		
7	精神医学総論（精神医学における症状と大脳皮質機能局在）高次脳機能障害（失語）		
8	高次脳機能障害（失行、失認、前頭葉症候群、側頭葉症候群）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	精神医学における症状（意識、知能、記憶、感情、自我意識、知覚、思考）		
10	精神医学治療学		
11	統合失調症（疫学、病因、症状、病型、治療）		
12	気分障害（単極性、双極性気分障害）		
13	神経症性障害（強迫性障害、解離性障害）		
14	身体因性精神病（てんかん）		
15	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		

基本情報

科目名	リハビリテーション概論
時間割コード	1000820301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、リハビリテーションの理念、歴史、障害理論および関連する制度等について説明できるようになる。
履修上の注意事項	各回の授業テーマと関連するテキストの該当箇所の予習・復習を徹底すること（120分）。 演習問題は2回以上、解いてください。 出席登録以外の授業中の携帯電話の使用を禁じます。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テスト等を通じて学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	『医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論』（最新版） 上好秋孝、土肥信行編著（永井書店）
参考文献	『入門リハビリテーション概論』中村隆一編（医歯薬出版）、『入門リハビリテーション医学』中村隆一監修（医歯薬出版）、『社会福祉小六法』（ミネルバ書房）、『リハビリテーション』砂原茂一著（岩波新書-139）など
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川俣：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	リハビリテーションとは（定義、理念、思想）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	リハビリテーションの歴史	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	リハビリテーションと障害医学	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	障害の理論的モデル：ICIDH	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	障害の理論的モデル：ICF	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	リハビリテーションと関連職種	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	医学的リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	社会的、職業的リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	リハビリテーションの対象	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
10	リハビリテーションと社会制度	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	地域リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	リハビリテーションと環境整備	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	介護予防とリハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	予防医学とリハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	リハビリテーションを取り巻く環境と今後の課題	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	リハビリテーション医学
時間割コード	1000830301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉里 雄伸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
角園 恵、今井 孝樹、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	リハビリテーション医学においては、人間の生活や人生を基盤として考える基本概念が貫かれている。その人間の生活に最も影響を与えるものの1つとして運動器がある。そこで、リハビリテーション医学の概念を基に臨床現場で経験することの多い代表的な運動器疾患の疾患特性、障害構造特性を理解し、説明ができるようになる。 第2学期以降の運動器理学療法の評価・治療展開につながる基礎を学ぶ。
履修上の注意事項	リハビリテーション医学は理学療法学の中でも必要不可欠な重要な科目の1つであることから、学生の十分な予習、復習が必要である。(120分)
評価方法	期末試験(100%)により評価する。
テキスト	鳥巢 岳彦・国分 正一総編集：標準整形外科学，医学書院
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
加藤・二宮・山本：理学療法士として病院勤務経験
1. オリエンテーション及び膝関節靱帯損傷 (加藤) 2. 半月板損傷 (加藤) 3. 腸脛靱帯炎，鷲足炎 (加藤) 4. 変形性関節症 (加藤) 5. 骨壊死性疾患(大腿骨頭壊死等) (加藤) 6. 足関節靱帯損傷 (二宮) 7. 肩関節周囲炎 (二宮) 8. 椎間板ヘルニア，腰部脊柱管狭窄症 (二宮) 9. 先天性異常，系統疾患 (二宮) 10. 骨軟部腫瘍，熱傷 (二宮) 11. 骨折・脱臼総論 (山本) 12. 上肢の骨折と脱臼 (山本) 13. 脊柱・骨盤の骨折 (山本) 14. 下肢の骨折と脱臼 (山本) 15. 関節リウマチ (山本)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	リハビリテーション医学
時間割コード	1000840301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一、大浦 佳子、山本 良平

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 中枢神経系疾患の理解に必要な神経生理学的事項（神経機構と効果器の関係）を自分の言葉で説明できる。 2. 中枢神経系疾患の概要と、対応する理学療法の原理が自分の言葉で説明できる。 3. 中枢神経系疾患の発生機序と障害像についてPTの立場から自分の言葉で説明できる。 4. 中枢神経系疾患の回復過程とリハビリテーションの流れについてPTの立場から自分の言葉で説明できる。 * ICF（または、ICIDH）での説明ができる。
履修上の注意事項	計画性を持って学習すること。併せて十分に予習・復習(合計30時間:毎回2時間)をすること。
評価方法	期末試験を100%で評価する。但し、授業への取り組み状況(学習態度およびレポートなど)を20%の範囲で成績に加味する。
テキスト	)理学療法ハンドブック（改定第4版），協同医書出版 2)病気がみえる VOL.7 第1版 メディックメディア
参考文献	1)？脳卒中最前線？？第4版？？医歯薬出版？？？2)ベッドサイド神経のみかた？？南山堂 3)？理学療法評価学？？金原出版？？4)脳卒中リハビリテーション？？第3版？？医歯薬出版？
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田 輝一：理学療法士として病院勤務。 大浦 佳子：理学療法士として病院勤務。 山本 良平：理学療法士として病院勤務。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	総論：神経系PTの領域（濱田）		
2	神経生理学-1 ＜情報の伝達：電気信号＞（大浦）		
3	神経生理学-2 ＜運動に関わる神経と筋の関係＞（大浦）		
4	神経生理学-3 ＜筋緊張について＞（大浦）		
5	神経生理学-4 ＜随意運動について＞（大浦）		
6	神経生理学-5 ＜不随随意運動について＞（大浦）		
7	パーキンソン病に対するリハビリテーション＜徴候・診断、回復過程・予後＞（濱田）		
8	脊髄小脳変性症に対するリハビリテーション＜徴候・診断・回復過程・予後＞（濱田）		
9	筋萎縮性側索硬化症に対するリハビリテーション＜徴候・診断・回復過程・予後＞（濱田）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	その他神経筋障害に対するリハビリテーション＜徴候・診断・回復過程・予後＞（瀧田）		
11	脳血管障害に対するリハビリテーション＜脳解剖＞（		
12	脳血管障害に対するリハビリテーション＜脳生理＞（		
13	脳血管障害に対するリハビリテーション＜運動障害＞（山		
14	脳血管障害に対するリハビリテーション＜感覚障害＞（山		
15	脳血管障害に対するリハビリテーション＜診断・分類、治療＞（山本）		

基本情報

科目名	リハビリテーション医学
時間割コード	1000850301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄、森下 志子、大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、呼吸・循環・代謝系疾患の基礎的病態について説明できるようになる。
履修上の注意事項	事前にテキストの該当箇所の予習・復習を徹底すること（120分）。 また、病態理解の基礎となる解剖学、生理学をしっかり復習しておくこと。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テストを通じて学修到達度、課題等についてフィードバックする。
テキスト	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学(最新版)（医学書院）、 標準理学療法学・作業療法学 内科学（最新版）（医学書院）
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	循環障害とは？（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	呼吸障害とは？（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	免疫機能とは？（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	感染症とは？（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	炎症とは？（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	感染性肺疾患、塵肺症（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	慢性閉塞性肺疾患（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	間質性肺炎、他（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	虚血性心疾患（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	心臓弁膜症、他（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	心不全（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	血液、造血器疾患（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	代謝疾患（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	膠原病（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	感染症各論（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	理学療法概論
時間割コード	1000860301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法の歴史、理念、定義、構成要素、およびリハビリテーションにおける位置づけについて体系的に学ぶ。
履修上の注意事項	内容が基本的で、広範囲にわたることから、充分な予習復習(合計30時間:毎回2時間)をすること。発表・報告については、別途提示する。レポート提出では指定された期限に提出しない場合、評価の対象外とする。
評価方法	レポート・発表等の日常的学習成果(30%)、定期試験成績(70%)を総合して評価。
テキスト	『理学療法概論テキスト』細田多穂監修、南江堂
参考文献	『理学療法概論第3版』千住秀明監修、神陵文庫。他、その都度提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田輝一：理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

回数	項目	内容
1	総論1	1.理学療法を取り巻く状況 *世界と日本
2	各論1	2.理学療法と職業倫理、適性:profession について
3	各論2	理学療法の位置づけと対象 1.リハビリテーションの概念とその中の理学療法の位置づけ。 2.理学療法の対象
4	各論3	(つづき) 2.理学療法の対象:〃(つづき); ライフスタイル、健康とこれからの逸脱(含、疾病)
5	各論4	ICIDH、ICF、訓練と治療。1.「評価」の意味するもの。2.評価から治療への流れ。 3.記録。
6	各論5	理学療法と法規(法律) *後半・特別講義:OTR男武 1.関連法規(医療法、医師法、他) 2.関係法規「理学療法士及び作業療法士法」
7	各論6	理学療法の目標を見据えた手段と実際 (体験学習) 班発表-1 基本動作 歩行練習 運動療法と物理療法、装具療法など(、+ICFの視点)
8	各論7	リハに関わる専門職と連携 班発表-2 1.リハに関わる専門職と免許権者 2.専門職の連携(チーム連携)、並びに職域
9	各論8	理学療法の目標を見据えた手段の実際 (各種疾患) 班発表-3 1)整形外科疾患(骨折) 2)中枢神経疾患(CVDなど) 3)班学習 *上記 ~ の視点
10	各論9	理学療法の目標を見据えた手段の実際 (各種疾患)(つづき) 班発表-4 4)他疾患:抹消神経疾患、呼吸・循環器 3)班学習 *上記 ~ の視点
11	各論10	理学療法と職場管理 1)診療記録の書き方と医科点数 班発表-5 2)医療保険制度 業務管理、チーム医療など
12	各論11	医療面接の基本、態度、質問法分類、心的サポートの手法 *後半・特別講義:OTR男武
13	各論12	教育と研究:理学療法士教育の歴史と現状・課題、研究の意義と方法など
14	各論13	グループワーク(班学習)
15	総論2	振り返りとまとめ

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1			
2			
3			
4			
5			

授業計画

回数 項目 内容

- 1 総論1 1.理学療法を取り巻く状況 *世界と日本
- 2 各論1 2.理学療法と職業倫理、適性:profession について
- 3 各論2 理学療法の位置づけと対象
 - 1.リハビリテーションの概念と其中的理学療法の位置づけ。 2.理学療法の対象
- 4 各論3 (つづき)
 - 2.理学療法の対象:＃(つづき); ライフスタイル、健康とこれからの逸脱(含、疾病)
- 5 各論4 ICIDH、ICF、訓練と治療。1.「評価」の意味するもの。2.評価から治療への流れ。 3.記録。
- 6 各論5 理学療法と法規(法律) *後半・特別講義:OTR男武
 - 1.関連法規(医療法、医師法、他) 2.関係法規「理学療法士及び作業療法士法」
- 7 各論6 理学療法の目標を見据えた手段と実際 (体験学習) 班発表-1

基本動作 歩行練習 運動療法と物理療法、装具療法など(、+ ICFの視点)
- 8 各論7 リハに関わる専門職と連携 班発表-2
 - 1.リハに関わる専門職と免許権者 2.専門職の連携(チーム連携)、並びに職域
- 9 各論8 理学療法の目標を見据えた手段の実際 (各種疾患) 班発表-3
 - 1)整形外科疾患(骨折) 2)中枢神経疾患(CVDなど) 3)班学習 *上記 ~ の視点
- 10 各論9 理学療法の目標を見据えた手段の実際 (各種疾患)(つづき) 班発表-4
 - 4)他疾患:抹消神経疾患、呼吸・循環器 3)班学習 *上記 ~ の視点
- 11 各論10 理学療法と職場管理
 - 1)診療記録の書き方と医科点数 班発表-5
 - 2)医療保険制度 業務管理、チーム医療など
- 12 各論11 医療面接の基本、態度、質問法分類、心的サポートの手法 *後半・特別講義:OTR男武
- 13 各論12 教育と研究:理学療法士教育の歴史と現状・課題、研究の意義と方法など
- 14 各論13 グループワーク(班学習)
- 15 総論2 振り返りとまとめ

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

基本情報

科目名	運動学
時間割コード	1000870301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	金 5
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	今井 孝樹
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
今井 孝樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床現場に直結する運動・動作分析による評価や治療としての運動療法などの基盤となる、身体運動・動作について、解剖学（含、系統発生学）を基礎として運動学的観点から学習する。そして、身体運動・動作のメカニズムを科学的に説明出来るようになる。
履修上の注意事項	講義では時間の制約上、広く浅く講義することとなる。運動学は理学療法学の中でも必要不可欠な重要な科目の1つであることから、学生の十分な予習、復習が必要である。（120分）
評価方法	定期試験を100%として評価する。
テキスト	基礎運動学、中村隆一編、医歯薬出版。
参考文献	1.カパンジー機能解剖学、塩田 悦仁翻訳、医歯薬出版 2.図解関節・運動器の機能解剖 - 上肢・脊柱編 -、井原秀俊他共訳、協同医書出版社。3.筋骨格系のキネシオロジー、嶋田智明（他共訳）、医歯薬出版株式会社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士としての病院勤務

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（運動学とは）		
2	力学の基礎		
3	運動器の構造（骨・関節）		
4	運動器の構造（筋・腱）		
5	運動器の構造（靱帯）		
6	運動器の構造（神経）		
7	上肢の運動学（肩甲帯）		
8	上肢の運動学（肩関節）		
9	上肢の運動学（肘関節・前腕）		
10	上肢の運動学（手関節）		
11	上肢の運動学（手指）		
12	頸部の運動学		
13	体幹の運動学（胸椎、胸郭）		
14	体幹の運動学（腰椎）		
15	頭部（咀嚼・表情）の運動学		

基本情報

科目名	運動学演習
時間割コード	1000880301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	今井 孝樹
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
今井 孝樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床現場に直結する運動・動作分析による評価や治療としての運動療法などの基礎となる身体運動・動作について、解剖学（含、系統発生学）を基礎として運動学的観点から学習する。そして、身体運動・動作のメカニズム（特に下肢）を科学的に説明出来るようになる。
履修上の注意事項	運動学同様、日々の十分な予習・復習が重要である。（120分）
評価方法	定期試験を100%として評価する。
テキスト	
参考文献	1.カパンジー機能解剖学、塩田 悦仁翻訳、医歯薬出版 2.図解関節・運動器の機能解剖 - 上肢・脊柱編 -、井原秀俊他共訳、協同医書出版社。3.筋骨格系のキネシオロジー、嶋田智明（他共訳）、医歯薬出版株式会社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士としての病院勤務

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、下肢の運動（骨盤の構造）		
2	下肢の運動（骨盤の運動学的機能）		
3	下肢の運動（骨盤周囲の触診）		
4	下肢の運動（股関節の構造）		
5	下肢の運動（股関節の運動学的機能）		
6	下肢の運動（股関節周囲の触診）		
7	下肢の運動（膝関節の構造）		
8	下肢の運動（膝関節の運動学的機能）		
9	下肢の運動（膝関節周囲の触診）		
10	下肢の運動（足関節の構造）		
11	下肢の運動（足関節の運動学的機能）		
12	下肢の運動（足関節周囲の触診）		
13	下肢の運動（足部の構造）		
14	下肢の運動（足部の運動学的機能）		
15	下肢の運動（足部周囲の触診）		

基本情報

科目名	バイオメカニクス
時間割コード	0302301901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	中野 聡太
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
中野 聡太、今井 孝樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	バイオメカニクスは、身体運動のメカニズムを力学的側面から究明する学問である。実際に臨床現場あるいはスポーツ現場では、対象者やスポーツ選手の姿勢・動作分析を行う際にバイオメカニクス等の知識を用いて、障害構造の評価、運動能力の評価、そして治療プログラム立案へと進めている場合が多い。人が「歩く」、「走る」、「跳躍する」ということはバイオメカニクスの視点から見れば、どのような意味があるのか？身体運動・動作のメカニズムを生体力学の観点から科学的に説明できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	講義では時間の制約上、広く浅く講義することとなる。バイオメカニクスは動作分析・姿勢分析を实践する上で必要不可欠な重要な科目の1つであることから、授業毎に教科書等を用いた予習（120分）と授業資料等を用いた復習（120分）を行う必要がある。
評価方法	試験を100%として評価する。
テキスト	Kirsten Gotz-Neumann：観察による歩行分析．医学書院，東京，2005
参考文献	江原義弘・山本澄子：ボディダイナミクス入門 歩き始めと歩行分析．医歯薬出版．2002 山本澄子・石井 慎一郎・江原 義弘：基礎バイオメカニクス第2版．医歯薬出版．2015
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者（中野、今井）は理学療法士として病院勤務経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	力の合成や分解（中野）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
2	生体のテコ（中野）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
3	重心（中野）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
4	重心の速度と加速度（中野）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
5	床反力と重心加速度（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
6	姿勢制御（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
7	立ち座りのバイオメカニクス（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
8	歩行周期と各相（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
9	歩行する身体の基本的な見方（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
10	歩行における衝撃吸収と重心調節メカニズム（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
11	歩行各層の運動学と運動力学（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
12	歩行における足部・足関節の働き（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	歩行における膝関節の働き（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
14	歩行における股関節・体幹・上肢の働き（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
15	運動連鎖（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	

基本情報

科目名	バイオメカニクス演習
時間割コード	0302302001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	中野 聡太
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
中野 聡太

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床で起こっている事象を力学的に捉え、動作介助や誘導方法を適切に提案できるようになるための基礎を固める。また、身体運動・動作のメカニズムを生体力学観点から科学的に説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	講義では時間の制約上、広く浅く講義することとなる。バイオメカニクスは動作分析・姿勢分析を实践する上で必要不可欠な重要な科目の1つであることから、授業毎に十分な予習と復習が必要である（合計120分）。
評価方法	試験を40%、グループ活動状況・発表内容（60%）として評価する。
テキスト	Kirsten Gotz-Neumann：観察による歩行分析，医学書院、2005
参考文献	山本澄子・石井 慎一郎・江原 義弘：基礎バイオメカニクス第2版，医歯薬出版、2015
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者（中野、今井）は理学療法士として病院勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	床反力作用点（中野）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
2	関節モーメント（中野）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
3	関節モーメントと筋活動（中野）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
4	仕事と仕事率（中野）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
5	力学的エネルギー（中野）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
6	グループワークオリエンテーション（歩行）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
7	各班グループワーク・資料作成（計画立案）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
8	各班グループワーク・資料作成（役割分担・参考資料調査）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
9	各班グループワーク・資料作成（参考資料のレビュー）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
10	各班グループワーク・資料作成（レジюме作成）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
11	各班グループワーク・資料作成（スライド・レジюме作成）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
12	各班グループワーク・資料作成（スライド・レジюме作成）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
13	各班グループワーク・資料作成（スライド作成）（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
14	グループ発表A（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	グループ発表B（今井）	教科書・授業資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	

基本情報

科目名	理学療法評価学
時間割コード	1000890301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法における評価の意義と方法について学ぶ。特にバイタルサイン、形態測定、バランス評価の基礎理論と技術について学ぶ。
履修上の注意事項	・受講前に必ず授業テーマに関するテキストの予習を行うこと（120分）
評価方法	定期試験100%で評価する。レポート課題がある場合は、必要に応じてフィードバックする。
テキスト	松沢正、他：理学療法評価学（金原出版株式会社）、最新版
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	総論（評価の目的と方法）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	医療面接（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	記録の取り方（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	バイタルサイン（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	血圧測定理論（基本）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	血圧測定理論（肢位別）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	血圧測定技術（基本）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	血圧測定技術（肢位別）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	ランドマーク触診（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	形態測定理論（上肢）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	形態測定理論（下肢）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	形態測定技術（上肢）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	形態測定技術（下肢）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	バランス評価（基本）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	バランス評価（応用）（川俣幹雄、中野聡太、森下志子、吉里雄伸）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	理学療法評価学
時間割コード	1000900301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	大浦 佳子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大浦 佳子、角園 恵、未定、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法における評価（関節可動域測定）の意味やその位置付け，および具体的技術について学修する． 学修者は、理学療法士の立場から自分の言葉で関節可動域測定について説明し，実施できるようになる．
履修上の注意事項	授業内容の予習・復習を徹底すること（120分）． 治療者として相応しい身だしなみを心掛けること． 技術は、修得するまで反復練習すること．
評価方法	知識振り返り50%，技術振り返り50%，計100%で評価する。 知識，技術の評価すべてに60%以上の得点を取った場合のみ，単位認定する。
テキスト	松澤正著：理学療法評価学，金原出版株式会社（新版） 理学療法評価学 と同じ教科書を使用
参考文献	その都度提示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
全15回にて行う 履修者を3つのグループ（1～3班）に分け，以下の講義（A，B，C）をローテーションにて学修する． 吉里は，各班の講義と実技の補助に入る A．講義（角園） 1．手(足)指・体幹等 総論 2．手(足)指・体幹等 手指 3．手(足)指・体幹 足趾 4．手(足)指・体幹 体幹等 5．手(足)指・体幹等振り返り（実技） B．講義（二宮） 1．下肢 総論 2．下肢 膝関節，股関節（屈曲・伸展） 3．下肢 股関節（外転・内転・外旋・内旋） 4．下肢 足関節 5．下肢振り返り（実技） C．講義（大浦） 1．上肢 総論 2．上肢 肘関節，肩関節（屈曲・伸展） 3．上肢 肩関節（外転・内転・外旋・内旋） 4．上肢 前腕，手関節 5．上肢振り返り（実技）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	理学療法評価学
時間割コード	0302302301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
森下 志子、大池 貴行、吉田 勇一、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、理学療法に必要な各評価技術について、評価の目的を理解し、基本的な評価技術を学習する。 本科目を通して、学修者は評価の目的と方法について言葉で説明できるようになる。また履修者は、基本的な評価技術を実施できるようになる。
履修上の注意事項	履修時は実習着を必ず着用すること。治療者として相応しい身だしなみを心掛けること。 演習科目であることから、十分な予習と、履修後に復習を行うこと。
評価方法	知識、技術をそれぞれ100%で評価する。そしてすべてについて60%以上の評価を得た場合にのみ履修認定を行う。つまり1つでも不合格(60%未満)の場合はすべてを再履修すること(不合格の評点が最終評価点となる)。さらに授業への取り組み状況を成績に加味する。評価技術の確認後、評価技術についての助言等のコメントをする。
テキスト	1)田崎義昭:ベッドサイドの神経の診かた 第18版 南山堂(購入未確認), 2)松澤正著:理学療法評価学 第6版 金原出版(購入済)
参考文献	その都度提示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員:理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	知識確認 (大池、吉田、森下、吉里)		
2	理学療法評価 総論 (大池、吉田、森下、吉里)		
3	感覚検査 総論 (大池、吉田、森下、吉里)		
4	感覚検査 各論:表在感覚 (大池、吉田、森下、吉里)		
5	感覚検査 各論:深部感覚 (大池、吉田、森下、吉里)		
6	感覚検査 各論:深部感覚 (大池、吉田、森下、吉里)		
7	反射検査 総論 (大池、吉田、森下、吉里)		
8	反射検査 各論:深部反射 (大池、吉田、森下、吉里)		
9	反射検査 各論:深部反射 (大池、吉田、森下、吉里)		
10	反射検査 各論:表在反射 (大池、吉田、森下、吉里)		
11	反射検査 各論:病的反射 (大池、吉田、森下、吉里)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	反射検査（まとめ） （大池、吉田、森下、吉里）		
13	感覚検査（まとめ） （大池、吉田、森下、吉里）		
14	脳神経検査（各脳神経検査実技） （大池、吉田、森下、吉里）		
15	脳神経検査（各脳神経検査実技） （大池、吉田、森下、吉里）		

基本情報

科目名	理学療法評価学
時間割コード	0302302401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆、山本 良平、角園 恵、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、理学療法に必要な筋力評価について、評価の目的を理解し、基本的な評価技術を学習する。 本科目を通して、学修者は筋力評価の目的と方法について言葉で説明できるようになる。 また学修者は、基本的な筋力評価技術を実施できるようになる。
履修上の注意事項	履修時は実習着を必ず着用すること。治療者として相応しい身だしなみを心掛けること。 演習科目であることから、十分な予習と、履修後に復習を行うこと。
評価方法	知識、技術をそれぞれ100%で評価する。そしてすべてについて60%以上の評価を得た場合にのみ履修認定を行う。つまり1つでも不合格（60%未満）の場合はすべてを再履修すること（不合格の評点が最終評価点となる）。 さらに授業への取り組み状況を成績に加味する。
テキスト	津山直一訳：新・徒手筋力検査法,第9版,協同医書出版社
参考文献	その都度提示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	岡田 裕隆:理学療法士として病院勤務経験 二宮 省悟:理学療法士として病院勤務経験 山本 良平:理学療法士として病院勤務経験 角園 恵:理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
・2回目以降の講義よりA とBの2グループ編成で講義を進める。 ・2～15回目の講義は全教員で担当する。 ・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間）。 事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	徒手筋力検査法（MMT）総論 A B（担当：山本）		
2	各論（上肢）Aグループ 各論（下肢）Bグループ		
3	各論（上肢）Aグループ 各論（下肢）Bグループ		
4	各論（上肢）Aグループ 各論（下肢）Bグループ		
5	各論（上肢）Aグループ 各論（下肢）Bグループ		
6	各論（上肢）Aグループ 各論（下肢）Bグループ		
7	各論（上肢）Aグループ 各論（下肢）Bグループ		
8	各論（上肢）振返りAグループ 各論（下肢）振返りBグループ		
9	各論（上肢）Bグループ 各論（下肢）Aグループ		
10	各論（上肢）Bグループ 各論（下肢）Aグループ		

授業計画

- ・ 2 回目以降の講義よりA とBの 2 グループ編成で講義を進める。
- ・ 2 ～ 1 5 回目の講義は全教員で担当する。
- ・ 各回について以下のように事前・事後の学習を行う。
事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（ 2 時間）。
事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（ 2 時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	各論（上肢）Bグループ 各論（下肢）Aグループ		
12	各論（上肢）Bグループ 各論（下肢）Aグループ		
13	各論（上肢）Bグループ 各論（下肢）Aグループ		
14	各論（上肢）Bグループ 各論（下肢）Aグループ		
15	各論（上肢）振返りBグループ 各論（下肢）振返りAグループ		

基本情報

科目名	運動療法学
時間割コード	0302302601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	運動療法の定義、理学療法における位置付け、歴史、各治療技術、原理について学習する。また、各治療技術が生体におよぼす効果・影響等について、生理学や病理学等の基礎医学的な裏付けについても学習する。 1. 運動療法の定義、理学療法における位置付け、歴史について理解する。 2. 運動が生体におよぼす効果・影響について基礎医学的側面を踏まえて理解する。 3. 各治療技術の原理、原則、適応、禁忌について理解する。
履修上の注意事項	実技に関しては、受講者数等に状況により学生の履修に支障があると判断される場合には、2クラスに分けて実施する。十分な予習復習を行うこと。
評価方法	講義途中に出される課題レポートおよびテスト等10%、期末試験90%で評価する。課題レポートおよびテストを 課さない場合は、その配分を期末試験に組み入れる。
テキスト	シンプル理学療法学シリーズ 運動療法学テキスト 南江堂
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	岡田裕隆：理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

授業計画
・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間）。 事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、総論：運動療法とは（定義、位置付け、歴史等）		
2	運動が生体におよぼす効果・影響、運動の種類と運動が持つ特性		
3	関節可動域運動（伸張運動を含む）1		
4	関節可動域運動（伸張運動を含む）2		
5	関節可動域運動（伸張運動を含む）3		
6	関節可動域運動（伸張運動を含む）4		
7	筋力増強運動1		
8	筋力増強運動2		
9	筋力増強運動3		
10	筋力増強運動4		
11	持久力運動		
12	協調性運動		
13	神経－筋筋再教育（神経生理学的アプローチ）		
14	治療体操		
15	その他の治療体操		

基本情報

科目名	運動療法学演習
時間割コード	0302302701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	運動療法学で学習した内容を基に、実技(治療技術)の部分を中心に学習し、臨床実習や将来的に理学療法士として治療を実施できる。
履修上の注意事項	講義の際は実習服を必ず着用すること。十分な予習復習を行うこと。
評価方法	"講義途中に出される課題レポートおよび小テスト、実技テスト、期末試験(筆記・実技)で評価する。課題レポートおよび小テスト、実技テストを課さない場合は、その配分を期末試験に組み入れる。
テキスト	シンプル理学療法学シリーズ 運動療法学テキスト 南江堂
参考文献	運動療法 大井淑雄、博田節夫編 医歯薬出版 コーチのためのトレーニングの科学 松井秀治編 大修館書店 Krusen's handbook of physical medicine and rehabilitation Kottke et.al. Saunders.等
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間)。 事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する(2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、総論：運動の種類とその特性など(岡田)		
2	ROM実習1(岡田),筋力訓練1(角園)		
3	ROM実習2(岡田),筋力訓練2(角園)		
4	ROM実習3(岡田),筋力訓練3(角園)		
5	ROM実習4(岡田),筋力訓練4(角園)		
6	ROM実習1(岡田),神経筋再教育、治療体操など(大浦)		
7	ROM実習2(岡田),神経筋再教育、治療体操など(大浦)		
8	ROM実習3(岡田),神経筋再教育、治療体操など(大浦)		
9	ROM実習4(岡田),神経筋再教育、治療体操など(大浦)		
10	神経筋再教育、治療体操など(大浦),筋力訓練1(角園)		
11	神経筋再教育、治療体操など(大浦),筋力訓練2(角園)		
12	神経筋再教育、治療体操など(大浦),筋力訓練3(角園)		
13	神経筋再教育、治療体操など(大浦),筋力訓練4(角園)		
14	実技確認(岡田・大浦・角園)		

授業計画

・ 各回について以下のように事前・事後の学習を行う。

事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（ 2 時間）。

事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（ 2 時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	実技確認(岡田・大浦・角園)		

基本情報

科目名	物理療法学
時間割コード	0302302801
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	月 3
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	今井 孝樹
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
今井 孝樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	1．理学療法分野である物理療法について、その定義・歴史・分類・生理学的作用・適応・禁忌等について 基本的知識を学習し、PTの立場から、自分の言葉で説明ができる。 2．各物理療法機器について、治療目的・操作方法などについて、PTの立場から、自分の言葉で説明ができる。
履修上の注意事項	生理学・解剖学・運動学・物理学の既有知識が「物理療法学」の学習を助けてくれます。この講義の受講前に復習をしておくことより理解が早いです。講義前にテキストを読み、各物理療法機器について調べ、予習すること。また講義後は、身につけた知識を定着させるため、復習を必ず行うこと。（予習・復習120分） 「操作および体験」に関しては、実習服を用います。事前にアナウンスします。
評価方法	期末試験100%で評価する。計60%以上の評価を得た場合にのみ履修認定を行う。さらに授業への取り組み状況を成績に加味する（授業の取り組みが不十分の場合にはそれぞれ評点より減点する）。
テキスト	標準理学療法学 物理療法学 第5版 網本 和（編） 医学書院
参考文献	理学療法ハンドブック 理学療法ハンドブック改訂第4版 協同医書出版社 EBM物理療法 原著第4版 Michelle H.Cameron 編著 / 渡部一郎 訳 医歯薬出版株式会社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画

二宮：理学療法士として病院勤務経験

以下の項目について講義を行う。

- 1．物理療法とは（定義、歴史等）、理学療法における物理療法の位置付け
- 2．物理的作用が生体におよぼす影響について（生理学的作用）
- 3．温熱療法（1）
 - 湿熱と乾熱、表在温熱と深部温熱
- 4．温熱療法（2）
 - 温熱療法の種類（それぞれの適応・禁忌を含む）
 - ホットパック
 - 赤外線
 - 紫外線
 - パラフィン浴
 - その他の温熱療法
- 5．温熱療法（3）
 - 超短波ジアテルミー
 - 極超短波ジアテルミー
 - 超音波ジアテルミー
- 6．寒冷療法（種類と適応・禁忌を含む）
- 7．水治療法（種類と適応・禁忌を含む）
- 8．牽引療法（種類と適応・禁忌を含む）
- 9．電気治療（1）低周波・干渉波
- 10．電気治療（2）その他の電気療法
- 11．温熱療法・寒冷療法（1）操作および体験
- 12．温熱療法・寒冷療法（2）操作および体験
- 13．電気治療（1）操作および体験-低周波・干渉波
- 14．電気治療（2）操作および体験-その他の電気療法
- 15．臨床で使用する場合のリスク管理について

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	義肢・装具学
時間割コード	0302302901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	帆鷲 輝誌男
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
帆鷲 輝誌男

詳細情報

授業の目的・到達目標	義肢装具の定義・目的・構造・機能・素材等の基本的な知識とリハビリテーションにおける位置付け および義肢装具の適合判定について学習する。 理学療法士として症状・状態等を理解して、適応する義肢装具を選択できるようにする。 装着後のチェックアウトできるようにする。
履修上の注意事項	整形外科が基本となるため履修内容に関連した範囲は必ず学習する事。（教科書の予習・復習する。）
評価方法	レポート10%、定期試験90%で評価する。 フィードバックとしてレポートにコメントして返却します。
テキスト	「義肢装具学テキスト」（南江堂）「義肢装具のチェックポイント」（医学書院）
参考文献	教科書と同様
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	義肢装具士として採型・製作・適合に多くの臨床経験を活かして、役割や総合支援法の制度等について講義・演習を行う事が出来る。（日本義肢装具学会員でもある。）

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	装具概論 定義・体系別装具の分類・機能による分類（帆鷲）	装具の目的・役割・歴史等について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
2	装具各論 体幹装具（頸椎装具・仙腸装具）目的・種類・機能・適応（帆鷲）	目的・種類・適応疾患について不明点調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
3	装具各論 体幹装具（腰仙椎装具・胸腰仙椎装具）目的・種類・機能・適応（帆鷲）	種類・目的・適応疾患等について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
4	装具各論 体幹装具（側弯症装具）目的・種類・機能・適応（帆鷲）	治療プログラム・機能・構造について不明点を調べておくこと。事後はチェックアウトについて整理をする。	
5	装具各論 上肢装具（手関節装具・指装具・把持装具等）目的・種類・機能・適応（帆鷲）	種類・目的・適応疾患等について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
6	装具各論 靴型装具（定義・基本・靴の補正）種類・機能・適応（帆鷲）	対象疾患に対する各種の補正について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
7	装具各論 下肢装具（短・長下肢装具・膝装具・特殊装具）目的・種類・機能・適応（帆鷲）	それぞれの装具の特徴や酒類について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
8	装具各論 下肢装具（チェックアウト・付属品）種類と構成（帆鷲）	下肢装具の構成する各関節の継手や付属品について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	義肢概論 定義・構成要素・構造・機能・切断部位による分類（帆鷺）	切断部位による分類と切断レベルとソケットについて不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
10	義肢各論 下腿義足（ソケットの種類・特徴）（帆鷺）	ソケットの種類と特徴について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
11	義肢各論 下腿義足（アライメント・調整について）（帆鷺）	正常歩行と重心移動とアライメントについて不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
12	義肢各論 大腿義足（ソケットの種類・特徴）（帆鷺）	ソケットの種類と特徴について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
13	義肢各論 大腿義足（異常歩行のチェックアウト）（帆鷺）	大腿義足のダイナミックアライメントと異常歩行について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
14	義肢各論 膝義足・股義足（ソケットの種類・特徴）（帆鷺）	その他の義足ソケットの種類と特徴等について不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	
15	義肢各論 義手（前腕義手・上腕義手・筋電義手）種類・機能・チェックアウト（帆鷺）	義手の種類と特徴と筋電義手との違いについて不明点を調べておくこと。事後はしっかりと整理をする。	

基本情報

科目名	日常生活行動学
時間割コード	0302303001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法士には、患者の障害の特性を理解し、環境因子に配慮した最適な理学療法アプローチが求められる。 本科目では「運動」、「動作」、「行為」の視点から障がい者の日常における行動、障害を評価することを学ぶ。また障害へのアプローチ方法、リハビリ機器の選定について学ぶ。 本科目を通して、学修者は疾患の特性を捉え、ADL評価できるようになる。また障害に対し、適切な指導方法や介助方法、リハビリ機器選定について説明できるようになる。
履修上の注意事項	治療者として相応しい身だしなみを心掛けること。 本講で学んだ実技は、的確に行えるように各自練習すること。 各疾患のADL評価を理解するために疾患の特性を事前に学習しておくこと。
評価方法	100点中、日常的な学習態度および課題レポート20%、期末筆記試験80%にて評価する。 なお課題レポートに対して、ディスカッションを通して助言等のコメントをする。
テキスト	千住秀明 監修：日常生活活動（ADL）第2版，神陵文庫
参考文献	世界保健機関（WHO）；国際生活機能分類 - 国際障害分類改訂版 - ， 中央法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	大池貴行：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ADLの概念		
2	基本動作・複合動作 1 日常生活における動作の観察ポイント （大池）		
3	基本動作・複合動作 2 正常な基本動作 （大池）		
4	基本動作・複合動作 3 障害ある動作と正常動作の違い （大池）		
5	リハビリテーション支援機器 （大池）		
6	中枢疾患のADL 1 ADLにおける障害の特性 （大池）		
7	中枢疾患のADL 2 ADL評価 （大池）		
8	中枢疾患のADL 3 ADLアプローチ （大池）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	運動器疾患 1 ADLにおける障害の特性 （大池）		
10	運動器疾患 2 ADL評価 （大池）		
11	運動器疾患 3 ADLアプローチ （大池）		
12	呼吸循環器疾患のADL 1 ADLにおける障害の特性 （大池）		
13	呼吸循環器疾患のADL 2 ADL評価 （大池）		
14	呼吸循環器疾患のADL 3 ADLアプローチ （大池）		
15	総 括 （大池）		

基本情報

科目名	日常生活行動学演習
時間割コード	0302303101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法士によるADLアプローチは、対象となる患者および障がい者の身体状況、疾患の特性を踏まえ、個々の障がい像に対応したアプローチが必要である。 本科目では、疾患特性に応じたADL動作の実演と介助方法を学ぶ。また適切なリハビリ機器の選択と使用方法について学ぶ。本科目を通して、学修者は障害の特性に応じた起居動作、移乗動作、歩行の介助ができるようになる。またリハビリ機器の適切な選定と使用方法について説明できるようになる。
履修上の注意事項	履修時は実習着を必ず着用すること。治療者として相応しい身だしなみを心掛けること。 本講で行った実技を的確に行えるよう各自で練習すること。 事前学習として、「日常生活行動学」で学んだ起居動作、杖歩行、移乗動作について復習すること。
評価方法	実技試験100% ADL実技振り返りでは、ADL実技に関する助言等のコメントをする。
テキスト	適宜資料を配布する。
参考文献	適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	大池貴行：理学療法士として病院勤務経験 中野聡太：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
中枢班（中野）分の内容を第2回～第7回に、運動器班（大池）分の内容を第8回～第14回に記載する。 Aクラス・Bクラスをそれぞれ入れ替えて実施する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	日常生活における行動（活動）と環境（大池）		
2	脳血管疾患の起居動作（中野）		
3	脳血管疾患の移乗動作1（中野）		
4	脳血管疾患の移乗動作2（中野）		
5	脳血管疾患の移乗動作3（中野）		
6	脳血管疾患の移乗動作4（中野）		
7	脳血管疾患の移動動作（中野）		
8	脳血管疾患ADL 実技振り返り 総括（中野）		
9	運動器疾患の動作観察（起居動作）（大池）		
10	運動器疾患の動作観察（起立動作）（大池）		

授業計画

中枢班（中野）分の内容を第2回～第7回に、運動器班（大池）分の内容を第8回～第14回に記載する。
Aクラス・Bクラスをそれぞれ入れ替えて実施する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	運動器疾患の移動動作（車椅子移乗と駆動） （大池）		
12	運動器疾患の移動動作（車椅子介助） （大池）		
13	運動器疾患の歩行（松葉杖歩行、T字杖歩行） （大池）		
14	運動器疾患の歩行（松葉杖歩行、T字杖歩行） （大池）		
15	運動器疾患ADL 実技振り返り 総括 （大池）		

基本情報

科目名	生活環境学
時間割コード	0302303201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大浦 佳子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大浦 佳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法士として必要な生活環境および法的制度などに関する知識を学習する。 高齢者や障害者が暮らしやすい生活環境整備について住宅改修、福祉用具を中心に評価と実際を学ぶ。
履修上の注意事項	グループワークは、グループ別に評価・調査・体験などを行います。 グループではお互いに建設的に協力して計画・行動し、課題レポート作成および発表の準備をすること。 課題レポートは個別に提出すること。 地域実習において理学療法評価、住環境整備、動作介助を体験することも視野に入れ、十分に予習・復習を行うこと（4時間）。
評価方法	期末試験80%、課題レポート20%にて評価する。
テキスト	福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト 改訂版 / 東京商工会議所 編
参考文献	伊藤隆夫・他 編集/図解 訪問理学療法技術ガイド 訪問の場で必ず役立つ実践のすべて/文光堂、 木村哲彦監 修/生活環境論/医歯薬出版、改訂版 自助具ハンドブック・福祉用具支援論 自分らしい生活を作るために
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として病院勤務経験。ケアマネージャーとして在宅介護支援センター勤務経験。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、総論	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（2時間）	
2	生活環境整備の留意点	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（2時間）	
3	関節可動域と日常生活活動	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	バリアフリーの関連諸制度	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 2 時間）	
5	住環境についての考え方	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（2 時間）	
6	住環境についての諸制度	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（2 時間）	
7	福祉用具について	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 2 時間）	
8	障害別住宅改造例	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 2 時間）	
9	関連領域との連携	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 2 時間）	
10	福祉住環境整備の共通基本技術	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 2 時間）	
11	生活行為別福祉住環境整備の手法	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 2 時間）	
12	福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識	事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後：ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまでを読む（ 12時間）	
13	生活環境改善計画の実際 生活環境の評価（グループワーク）	事後：課題レポート作成。（4 時間）	
14	生活環境改善計画の実際 生活環境の改善計画（グループワーク）	事後：課題レポート作成。（4 時間）	
15	まとめ（発表）	ノートをしっかり整理する。（4 時間）	

基本情報

科目名	地域理学療法学
時間割コード	0302303301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会の中でも特に地域（社会）を実践場面とする理学療法士の役割と方法について、リハビリテーションの理念に元づき学習する。具体的には、理学療法の対象となる疾病や障害を持った患者に関わる社会生活について、また生活を支える仕組み（関連多職種との連携や社会資源の活用など）を学び、将来の地域における活動ができる様にする。更に応用的領域である、世界の地域における理学療法士の活動も学ぶ。
履修上の注意事項	内容が基本的で、広範囲にわたることから、充分な予習と復習に心がけること。発表・報告については、別途提示する。レポート提出では指定された期限に提出しない場合、評価の対象外とする。
評価方法	レポート・発表等の日常的学習成果(30%)、定期試験成績(70%)を総合して評価。
テキスト	奈良勲監修、牧田光代編集、標準理学療法学 地域理学療法学、医学書院、 ワイド版社会福祉小六法2021 資料付 、ミネルヴァ書房
参考文献	柳沢健編集、理学療法学 ゴールドマスター・テキスト7 地域理学療法学、メディカルビュー社、 東京商工会議所編、福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト・改訂版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田輝一：理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	総論 1 社会構造と生活、及び文化、並びに経済活動と社会保障制度の歴史について		
2	総論 2 リハビリテーションの理念と地域リハ、並びにWHOの取組、CBRとICF。		
3	総論 3 ヒトの生活 生活者のライフステージ、健康と障害、ICFの心理的因子とは		
4	総論 4 ヒトの生活 ICFの環境因子である住宅環境の基本知識（構造と名称など）		
5	各論 1 地域理学療法を支えるシステム 日本国憲法と社会福祉法-1(福祉三法)		
6	各論 2 地域理学療法を支えるシステム 社会福祉法-2(福祉五法、六法)		
7	各論 3 地域理学療法を支えるシステム 社会福祉法-3(その他；高齢者福祉、介護保険、他)		
8	各論 4 地域理学療法を支えるシステム リハ医療のシステム		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	各論5 地域理学療法を支えるシステム 地域連携における理学療法士の役割 （外部講師）		
10	各論6 生活環境の整備 住宅の構造と 生活者に応じた整備の基本（改造など）		
11	各論7 地域理学療法実践の基本 生 活者（ICIDH、ICF）の視点から；問題点 の抽出		
12	各論8 地域理学療法実践の基本 生 活者（ICIDH、ICF）の視点から；問題点 の解決法		
13	各論9 地域理学療法実践の具体例（ 内部職員との協働） 1)PTの例、2)OTの 例		
14	各論10 地域理学療法実践の具体例 JICAでの理学療法士の役割（外部講師）		
15	振り返りとまとめ		

基本情報

科目名	基礎理学療法学特講
時間割コード	0333003601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	中野 聡太
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
森下 志子、中野 聡太、角園 恵、未定、今井 孝樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	基礎理学療法分野における専門知識および技術について、これまで学んできたことを再確認し、整理・蓄積することを目的とする。また、その知識・技術を説明できるようになる。
履修上の注意事項	広範囲にわたる知識・技術が要求されるため、4年間の知識の復習が必要である。また、各授業テーマについて予習・復習を十分行うこと（合計120分）。
評価方法	学内模試、学外模試の結果をもとに評価する。
テキスト	各領域の科目でこれまで使用したテキストおよび配布資料を整理し、持参すること。その他は適宜連絡する。
参考文献	特に指定しないが、今まで使用した各領域の教科書だけでなく周辺の参考文献も検索すること。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は理学療法士として病院勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	装具学1（下肢装具：KAFO、AFOなど） （角園：理学療法士として病院勤務経験）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
2	装具学2（下肢装具：その他の下肢装具、靴型装具） （角園：理学療法士として病院勤務経験）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
3	装具学3（上肢装具、頸椎装具、体幹装具） （中野：理学療法士として病院勤務経験）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
4	義肢学（義手）（未定）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
5	義肢学（義足）（未定）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
6	物理療法学（今井：理学療法士として病院勤務経験）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
7	排尿生理（森下：理学療法士として病院勤務経験）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	
8	病理学（森下：理学療法士として病院勤務経験）	教科書・関連資料等を用いて十分な予習と復習（合計120分）	

基本情報

科目名	研究方法論
時間割コード	0333003701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、医療における研究の意義と研究方法について説明できるようになる。
履修上の注意事項	事前にテキストの該当箇所の予習・復習を徹底すること（120分）。 演習問題は2回以上解いてください。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テストを通じて、学習到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	最新 理学療法学講座 理学療法研究法（対馬栄輝、著）、医歯薬出版株式会社
参考文献	「はじめての研究法—コ・メディカルの研究法入門」（千住秀明、神陵文庫）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、医療における研究の意義	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	研究の展開のしかた	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	文献検索の方法	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	和文検索の実際	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	英文検索の実際	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	疫学と研究デザインの考え方	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	量的研究と質的研究	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	観察研究と介入研究	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	研究におけるバイアスとは？	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
10	バイアスの制御法	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	統計学（正規分布等）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	統計学（代表値、分散）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	統計学（検定と推定）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	統計学（各種検定法）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	EBMとは？	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	運動器理学療法学
時間割コード	0302303601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉里 雄伸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
角園 恵、未定、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、リハビリテーション医学 において学んだ代表的な運動器疾患の疾患特性、障害構造特性の理解を基にそれに対する理学療法アプローチの理論・技術について、患者モデルを用いたグループ学習を中心に学習する。肩関節・股関節・膝関節・足関節疾患の病態を理解し、当該疾患の原因・障害像・予後・医学的治療について理解を深めることを目的とする。さらに、理学療法の評価・治療プログラムを立案できることを目標とする。
履修上の注意事項	本科目は理学療法学の中でも必要不可欠な重要な科目の1つであることから、学生の十分な予習、復習が必要である（120分）。
評価方法	各疾患終了後にレポート提出を義務付ける。レポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
テキスト	細田多穂・柳沢健編集：理学療法ハンドブック1～4、協同医書（運動器理学療法学 でも使用）
参考文献	理学療法評価学等、関連する授業科目で使用する教科書
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
ポイント 1) 運動器疾患を対象疾患とする。 2) 上記疾患について、原因・障害像・予後・医学的治療について理解を深める。 3) 理学療法の評価・治療について学ぶ。 4) 本科目は運動器理学療法学 と連動して学修する。 加藤・二宮・山本：理学療法士として病院勤務経験 1. 股関節疾患（変形性股関節症）：患者モデル提示，病態像・障害像・予後（グループワーク） 加藤 2. 股関節疾患（変形性股関節症）：病態像・障害像・予後（発表） 加藤 3. 股関節疾患（大腿骨頸部骨折）：患者モデル提示，病態像・障害像・予後（グループワーク） 加藤 4. 股関節疾患（大腿骨頸部骨折）：病態像・障害像・予後（発表） 加藤 5. 股関節疾患（まとめ） 加藤 6. 肩インピンジメント症候群：患者モデル提示，病態像・障害像・予後（グループワーク） 二宮 7. 肩インピンジメント症候群：病態像・障害像・予後（発表） 二宮 8. 足関節靭帯損傷：患者モデル提示，病態像・障害像・予後（グループワーク） 二宮 9. 足関節靭帯損傷：病態像・障害像・予後（発表） 二宮 10. まとめ（振り返り） 二宮 11. 膝関節疾患（ACL損傷）：患者モデル提示，病態像・障害像・予後（グループワーク） 山本 12. 膝関節疾患（ACL損傷）：病態像・障害像・予後（発表） 山本 13. 膝関節疾患（変形性膝関節症）：患者モデル提示，病態像・障害像・予後（グループワーク） 山本 14. 膝関節疾患（変形性膝関節症）：病態像・障害像・予後（発表） 山本 15. 膝関節疾患（まとめ） 山本

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	運動器理学療法学演習
時間割コード	0302303701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	吉里 雄伸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
角園 恵、未定、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、リハビリテーション医学 において学んだ代表的な運動器疾患の疾患特性、障害構造特性の理解を基にそれに対する理学療法アプローチの理論・技術について、患者モデルを用いたグループ学習を中心に学習する。肩関節・股関節・膝関節・足関節疾患の病態を理解し、当該疾患の原因・障害像・予後・医学的治療について理解を深めることを目的とする。さらに、理学療法の評価・治療プログラムを立案できることを目標とする。
履修上の注意事項	本科目は理学療法学の中でも必要不可欠な重要な科目の1つであることから、学生の十分な予習、復習が必要である（120分）。
評価方法	各疾患終了後にレポート提出を義務付ける。レポート（40%）、期末試験（60%）で評価する。
テキスト	細田多穂・柳沢健編集：理学療法ハンドブック1～4，協同医書（運動器理学療法学でも使用）
参考文献	理学療法評価学等、関連する授業科目で使用する教科書
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
ポイント 1) 運動器疾患を対象疾患とする。 2) 上記疾患について、原因・障害像・予後・医学的治療について理解を深める。 3) 理学療法の評価・治療について学ぶ。 4) 本科目は運動器理学療法学と連動して学修する。 二宮・角園・吉里：理学療法士として病院勤務経験 1. 股関節疾患（変形性股関節症）：評価・理学療法（グループワーク） 加藤 2. 股関節疾患（変形性股関節症）：評価・理学療法（発表） 加藤 3. 股関節疾患（大腿骨頸部骨折）：評価・理学療法（グループワーク） 加藤 4. 股関節疾患（大腿骨頸部骨折）：評価・理学療法（発表） 加藤 5. 股関節疾患（まとめ） 加藤 6. 肩インピンジメント症候群：評価・理学療法（グループワーク） 二宮 7. 肩インピンジメント症候群：評価・理学療法（発表） 二宮 8. 足関節靭帯損傷：評価・理学療法（グループワーク） 二宮 9. 足関節靭帯損傷：評価・理学療法（発表） 二宮 10. まとめ（振り返り） 二宮 11. 膝関節疾患（ACL損傷）：評価・理学療法（グループワーク） 山本 12. 膝関節疾患（ACL損傷）：評価・理学療法（発表） 山本 13. 膝関節疾患（変形性膝関節症）：評価・理学療法（グループワーク） 山本 14. 膝関節疾患（変形性膝関節症）：評価・理学療法（発表） 山本 15. 膝関節疾患（まとめ） 山本

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	運動器理学療法学演習
時間割コード	0333004001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	吉里 雄伸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
角園 恵、未定、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、運動器理学療法学，および運動器理学療法学演習 で学んだ理学療法アプローチの理論と技術（理学療法評価，運動療法，ADL訓練・指導の各技術）についての基本的スキルを高めて、臨床現場で実践できるようになる。
履修上の注意事項	2学期からの臨床実習を視野に入れた，知識面，技術面，そして情意面（態度面）にわたる調和のとれた学習が求められ十分な予習，復習が必要である（120分）．特に専門家として理学療法を支える適性や熱意，理学療法士に恥じない言動や態度を身につけることが求められる．
評価方法	筆記試験（100％）で評価する．
テキスト	特に指定しない．
参考文献	その都度，紹介する．
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
二宮・角園・吉里：理学療法士として病院勤務経験
1．オリエンテーション 運動器肩甲帯・肩関節障害，足部障害に対する理学療法（総論） 二宮 2．運動器肩甲帯・肩関節障害に対する理学療法評価 二宮 3．運動器肩甲帯・肩関節障害に対する治療（運動療法・ADL訓練） 二宮 4．運動器足部障害に対する理学療法評価 二宮 5．運動器足部障害に対する治療（運動療法・ADL訓練） 二宮 6．運動器膝関節障害に対する理学療法評価 角園 7．運動器膝関節障害に対する理学療法評価 角園 8．運動器膝関節障害に対する運動療法 角園 9．運動器膝関節障害に対する運動療法 角園 10．運動器膝関節障害に対するADL訓練 角園 11．運動器股関節障害に対する問診・関節機能評価 吉里 12．運動器股関節障害に対する筋機能評価 吉里 13．運動器股関節障害に対する痛みの評価 吉里 14．運動器股関節障害に対する運動療法 吉里 15．運動器股関節障害に対するADL訓練 吉里

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	運動器理学療法学特講
時間割コード	0333004101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法士として求められる運動器理学療法分野における専門知識および技術について、これまで学んできた知識・技術を再確認し、整理・蓄積することことで、臨床ベースに即した論理的思考能力の獲得を目標とする。
履修上の注意事項	講義では時間の制約上、広く浅く講義することとなる。そのため学生自身の十分な予習、復習が必要である（120分）。
評価方法	学内模試・学外模試の結果を基に評価する。
テキスト	各領域でこれまで使用したテキストおよび配布資料を整理し、持参すること その他は適宜連絡する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間）。 事後：しっかりと講義ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（2時間）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	神経理学療法学
時間割コード	0302304001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 脳卒中の一般的な患者像を，PTの立場から，自分の言葉で説明できる． 2. 脳卒中に対する理学療法評価を，PTの立場から，自分の言葉で説明でき，実践できる．
履修上の注意事項	計画性を持って学習すること．特に各疾患の基本的知識（疾患学）をもとに授業展開することになるので十分な予習復習（毎回2時間）をすることを行うこと．なお，初回に模擬患者・処方箋を提示．個々・班で事前学習し，授業に臨むこと．
評価方法	期末試験100%で評価する． ただし，課題および学習態度等を20%の範囲で評価に反映させる．
テキスト	1) 潮見泰蔵：ビジュアルレクチャー 神経理学療法学，医歯薬 2) 神経診察クローズアップ 正しい病巣診断のコツ（改訂第2版），メジカルビュー社 3) 中村隆一：理学療法テクニック—発達のアプローチ—，医歯薬
参考文献	1) 理学療法ハンドブック（改定第4版），協同医書出版 2) 脳卒中ことはじめ（第2版）医学書院 3) 病気がみえるVol7（第1版），メディックメディア
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田 輝一：理学療法士として病院勤務。 大浦 佳子：理学療法士として病院勤務。 山本 良平：理学療法士として病院勤務。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・脳卒中の基礎知識（山本）		
2	脳画像の種類（山本）		
3	脳の機能解剖（山本）		
4	脳画像の読影（山本）		
5	脳卒中における運動障害の評価（山本）		
6	高次脳機能障害の評価 - 机上の検査（山本）		
7	高次脳機能障害の評価 - その他（山本）		
8	脳画像と理学療法評価（山本）		
9	脳卒中における疼痛（山本）		
10	脳卒中の理学療法-急性期-（大浦）		
11	脳卒中の理学療法-回復期-（大浦）		
12	脳卒中の理学療法-維持期-（大浦）		
13	脳卒中の姿勢・動作を評価する為の基本動作学（濱田）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	脳卒中の姿勢・動作の評価 （瀧田）		
15	脳卒中の姿勢・動作学からみた治療 （瀧田）		

基本情報

科目名	神経理学療法学演習
時間割コード	0302304101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一

詳細情報

授業の目的・到達目標	神経に起因する代表的な疾患とその障害像を理解し、それに対する理学療法アプローチの理論、技術について学習する。 1. 神経に起因する疾患について、その原因、障害像、医学的治療、予後について理解し、PTの立場から、自分の言葉で説明できる。 2. 各神経疾患に対する理学療法アプローチについて理解し、PTの立場から、自分の言葉で説明できる。
履修上の注意事項	計画性を持って学習すること。特に各疾患の基本的知識（疾患学）をもとに授業展開することになるので十分な予習復習(合計15時間:毎回1時間)を行うこと。
評価方法	期末試験を100%で評価する。ただし、学習態度およびレポート等を20%の範囲で評価に反映させる。
テキスト	1) 細田多穂, 他: 理学療法ハンドブック 改訂第4版, 協同医書 2) 山永裕明・野尻晋一: 図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション, 三輪書店 3) 武田功, 他: 脊髄損傷の理学療法 第3版 医歯薬出版
参考文献	その都度提示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田 輝一: 理学療法士として、病院勤務。 大浦 佳子: 理学療法士として、病院勤務。 山本 良平: 理学療法士として、病院勤務。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	脳機能-1 <総論> (大浦)		
2	脳機能-2 <延髄、橋> (大浦)		
3	脳機能-3 <中脳、間脳> (大浦)		
4	脳機能-4 <基底核> (大浦)		
5	脳機能-5 <大脳辺縁系> (大浦)		
6	脳機能-6 <小脳> (大浦)		
7	オリエンテーション PD・SCD・ALS・MS他 総論<定義・原因・分類> (山本)		
8	パーキンソン病(PD) <症状について> (山本)		
9	パーキンソン病(PD) <評価と理学療法について> (山本)		
10	脊髄小脳変性症(SCD) <症状について> (山本)		
11	脊髄小脳変性症(SCD) <評価と理学療法について> (山本)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	筋萎縮性側索硬化症(ALS)＜症状と評価について＞ （山本）		
13	筋萎縮性側索硬化症(ALS)＜理学療法について＞ （山本）		
14	多発性硬化症(MS)＜症状と評価, 理学療法について＞ （瀧田）		
15	重症筋無力症(MS)＜症状と評価, 理学療法について＞ （瀧田）		

基本情報

科目名	神経理学療法学演習
時間割コード	0333004401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3, 月 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一、大浦 佳子、山本 良平

詳細情報

授業の目的・到達目標	「神経理学療法学」、「神経理学療法学演習」で学んだ理学療法の理論と技術についてチュートリアル形式による問題解決型学習とする。これにより臨床(臨床)実習に必要な、神経系障害をもつ患者への理学療法の評価から治療までの一連のものを学生自身の言葉で説明と実践ができることを目標とする。
履修上の注意事項	臨床実習を視野に入れた、評価と治療技術の基本の修得が目標である。個々の技術の研鑽と共にグループでの協力が不可欠である。互いに建設的に協力し、計画的に行動すること。併せて充分に予習・復習(合計15時間:毎回1時間)をすること。
評価方法	期末試験を100%で評価する。但し、授業への取り組み状況(学習態度およびレポートなど)を20%の範囲で成績に加味する。
テキスト	1)千田 富義,高見 彰淑(編集) 脳卒中(リハ実践テクニック)第3版,メジカルビュー社。 2)宮越浩一編、標準理学療法学・作業療法学・言語療法学 別巻、画像評価、医学書院。
参考文献	以下の科目で使用したテキスト。「神経理学療法学」、「神経理学療法学演習」、「理学療法評価学演習」、「日常生活活動学」など。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田 輝一:理学療法士として病院勤務。 大浦 佳子:理学療法士として病院勤務。 山本 良平:理学療法士として病院勤務。

授業計画

授業計画	
教員3名で、代表的疾患を担当し、ABクラスを交互に入替え実施する。領域・疾患は、単元(回)に示す。以下の通り。尚、クラス表記は、この科目でのクラス。学年のクラスではないので、留意のこと。 *代表疾患:脳卒中(CVD)、高次機能障害と認知症(高次・D)、脊髄損傷(SCI)、パーキンソン病(PD)、脊髄小脳変性症(SCD)、筋委縮性側索硬化症(ALS)、その他神経筋障害(他:GBS、MG、MSなど)	
1.~2.<A・Bクラス>(濱田)	2.総論 問題点把握・整理と治療
3.~30.*3~16の14回と17~30の14回で、クラスの入替え。以下は、14コマの3(17)~16(30)で表記。	
<Aクラス>(濱田、山本)	<Bクラス>(大浦、山本)
3.(17.) 神経難病・総論	CVD・劣位半球損傷:情報の列挙
4.(18.) PD:情報の検索・評価項目の列挙	CVD・劣位半球損傷:急性期・評価項目の列挙と施行
5.(19.) PD:評価・治療技術と支援の施行	CVD・劣位半球損傷:急性期・治療技術の施行
6.(20.) SCD:情報の検索・評価項目の列挙	CVD・劣位半球損傷:回復期・評価項目の列挙と施行
7.(21.) SCD:評価と治療技術の施行	CVD・劣位半球損傷:回復期・治療技術の施行
8.(22.) ALS:情報の検索・評価項目の列挙	CVD・劣位半球損傷:回復期・高次脳機能と日常生活活動
9.(23.) ALS:評価と治療技術の施行	CVD・劣位半球損傷:総括
10.(24.) ALS:評価と治療技術の施行	CVD・優位半球損傷:情報の列挙
11.(25.) 特殊技術・PNF 理論	CVD・優位半球損傷:急性期・評価項目の列挙と施行
12.(26.) 特殊技術・PNF 技術・基本手技	CVD・優位半球損傷:急性期・治療技術の施行
13.(27.) 特殊技術・PNF 技術・特殊手技	CVD・優位半球損傷:回復期・評価項目の列挙と施行
14.(28.) 治療動作 臥位・寝返り・座位・起き上がり	CVD・優位半球損傷:回復期・治療技術の施行
15.(29.) 治療動作 立ち上がり・立位・歩行	CVD・優位半球損傷:回復期・高次脳機能と日常生活活動
16.(30.) 実技の振返り 立ち上がり・立位・歩行	CVD・優位半球損傷:総括

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	神経理学療法学特講
時間割コード	0333004501
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一

詳細情報

授業の目的・到達目標	理学療法士として求められる基礎理学療法分野における専門知識および技術について、これまで学んできた知識・技術を再確認し、整理・蓄積することを目的とする。また、PTの立場から、自分の言葉で説明できるようにする。
履修上の注意事項	広範囲にわたる知識、技術が要求されるため、4年間の知識の復習と講義ごとの予習が必要である。十分な予習復習(毎回2時間)をすること。
評価方法	学内模試、学外模試の結果をもとに評価する。
テキスト	各領域でこれまで使用したテキストおよび配布資料を整理し、持参すること。 その他は適宜連絡する。
参考文献	特に指定しないが、これまで使用した各領域の教科書に留まらず、周辺の文献を検索すること。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田輝一：理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	脊髄損傷 大浦		
2	脊髄損傷 大浦		
3	神経難病(PD,SCD) 濱田・山本		
4	神経難病(MS,MG) 濱田・山本		
5	神経生理（中枢神経） 吉田		
6	神経生理（末梢神経） 吉田		
7	脳血管障害（病態） 大浦・山本		
8	脳血管障害（評価） 大浦・山本		
9	脳血管障害（治療） 大浦・山本		
10	運動発達と発達検査 吉田		
11	小児疾患（脳性麻痺、遺伝性疾患、小児整形疾患） 吉田		

基本情報

科目名	内部障害理学療法学
時間割コード	0302304401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、呼吸循環代謝疾患の病態と障害像を理解する。 当該疾患の評価・医学的治療、理学療法アプローチについて説明できるようになる。
履修上の注意事項	テキストの該当箇所の予習・復習を徹底すること（120分）。 演習問題は、2回以上解いてください。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テストを通じて学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	「内部障害理学療法学テキスト 最新版」（山崎裕司、川俣幹雄、丸岡 弘、編）、南江堂 「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 最新版」（シリーズ監修 奈良勲他）、医学書院
参考文献	「理学療法評価学テキスト」（細田多穂 監修、南江堂）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	内部障害のリハビリテーション総論（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	内科系疾患の症候学（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	内科系疾患の評価（肝臓、腎臓、血液機能など）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	内科系疾患の評価（代謝性疾患）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	内科系疾患の評価（血液疾患）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	内科系疾患の評価（感染症の基礎知識）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	内科系疾患の評価（感染症各論）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	呼吸理学療法（運動処方）（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	呼吸理学療法（呼吸法、排痰法）（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	循環器疾患の病態理解（虚血性心疾患）（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	循環器疾患の病態理解（心不全）（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	循環器疾患の理学療法評価ADL、QOL（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	循環器疾患の運動耐容能評価（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	循環器疾患のADL，QOL（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	循環器疾患の事例検討（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	内部障害理学療法学演習
時間割コード	0302304501
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	呼吸循環代謝系疾患の評価と理学療法について演習形式で学修する。
履修上の注意事項	授業テーマの関連分野の予習・復習を徹底すること（120分）。 演習問題は2回以上解くこと。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テストを通じて、学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	その都度、提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	内部障害系疾患の疫学（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	呼吸器に関わる機能解剖（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	呼吸器疾患の症候（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	呼吸器疾患の臨床検査所見（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	呼吸器疾患の理学療法評価（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	呼吸機能と胸部画像の解釈（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	理学所見と運動機能の解釈（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	呼吸理学療法（運動療法）（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	循環器疾患の身体所見演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
10	循環器疾患の運動機能評価演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	循環器疾患のADL,QOL評価演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	心電図演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	心筋梗塞の理学療法演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	心不全の理学療法演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	循環器疾患模擬症例シミュレーション（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	内部障害理学療法学演習
時間割コード	0333004801
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1, 火 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄、森下 志子、大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、模擬症例検討シミュレーションや演習を通じて、さらに呼吸・循環・内科系疾患全般の評価と理学療法に関する理解を深める。
履修上の注意事項	テキストの該当分野の予習・復習を徹底すること。 演習問題は2回以上解くこと。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テストを通じて、学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	「呼吸理学療法標準手技」（千住秀明、他監修、医学書院）
参考文献	「内部障害理学療法学テキスト最新版」（細田多穂、監修、南江堂）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、内部障害の評価演習総論（川俣、大池、森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	呼吸不全の運動機能評価演習（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	呼吸器疾患の運動療法演習（大池）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	呼吸理学療法の実践（大池、川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	循環器疾患の評価演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	循環器疾患の運動機能評価演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	循環器疾患の理学療法演習（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	内科系疾患の評価演習（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	内科系疾患の運動療法演習（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	内科系疾患の日常生活指導演習（森下，川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	心電図演習（川俣、大池，森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	身体診察の基本手技（川俣、大池、森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	呼吸理学療法の基本手技（川俣、大池、森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	感染対策演習（川俣、大池、森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	吸引の理論と実際（川俣、大池、森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	内部障害理学療法学特講
時間割コード	0333004901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、理学療法士として求められる内部障害理学療法分野における専門知識および技術を再整理し、理解を深める。
履修上の注意事項	テキストの該当分野の予習・復習を徹底すること（120分）。演習問題は2回以上解くこと。
評価方法	模擬試験の成績70%、日常的学习状況30%で評価する。 小テストを通じて、学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	各領域でこれまで使用したテキストおよび配布資料を整理し、持参すること、その他は適宜連絡する。
参考文献	特に指定しない。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	循環生理（循環調節）（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	循環生理（心電図）（川俣）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	内科学（症候学）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	内科学(感染症）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	内科学（免疫疾患）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	内科学（血液、造血器疾患）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	内科学（腫瘍）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	内科学（代謝疾患）（森下）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	スポーツ理学療法学
時間割コード	0333005001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉里 雄伸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヘルスプロモーションからアスレティックリハビリテーションに至るまで、運動・スポーツが身体に及ぼす影響について説明できる。また、運動やスポーツ（競技）における外傷・障害の発生機序を理解することで、健常者からスポーツ選手までの健康増進や健康管理・障害予防に対する指導ができる。
履修上の注意事項	理学療法の観点からスポーツを考える必要がある。運動生理などの既有知識が必要になるため、各講義前の予習を行うこと。また講義後は、習った知識を定着させるため、復習を必ず行うこと（予習＋復習120分）。実習服やTシャツ、短パンなど運動しやすいものを指定する場合がある。事前にアナウンスする。
評価方法	期末試験100%で評価する。計60%以上の評価を得た場合にのみ履修認定を行う。さらに授業への取り組み状況を成績に加味する（授業への取り組みが不十分な場合には評点より減点する）。
テキスト	スポーツ理学療法学（改訂第2版） 監修 陶山 哲夫 メジカルビュー社
参考文献	新版 スポーツ外傷・障害の理学診断理学療法ガイド 臨床スポーツ医学編集委員会：編 理学療法m o o k スポ - ツ傷害の理学療法 第2版 福井勉 小柳磨毅、三輪書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	二宮省悟：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
二宮：理学療法士として病院勤務経験 以下の内容で15回の講義を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・PBL（ACL損傷）		
2	スポーツ障害とは		
3	スポーツ障害の機能解剖と評価		
4	スポーツ障害と理学療法（上肢・下肢・体幹）		
5	四肢と体幹の障害に対する理学療法 1（上肢）		
6	四肢と体幹の障害に対する理学療法 2（下肢）		
7	四肢と体幹の障害に対する理学療法 3（体幹）		
8	スポーツマッサージ法（知識の習得）		
9	スポーツマッサージ法（技術の実施）		
10	テーピング法（概論）		
11	スポーツ障害とコンディショニング 1（上肢・下肢）		
12	スポーツ障害とコンディショニング 2（体幹）		
13	運動と栄養・水分補給		

授業計画

二宮：理学療法士として病院勤務経験 以下の内容で15回の講義を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	障害者スポーツ・レクリエーション		
15	体力とヘルスプロモーション（健康増進）		

基本情報

科目名	老人理学療法学
時間割コード	0333005201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	森下 志子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
森下 志子、中野 聡太、山本 良平

詳細情報

授業の目的・到達目標	身体に加齢に伴う変化を理解し、高齢者に発生しやすい疾患・障害を考慮した健康支援ができる。 高齢化社会における地域医療の現状を理解し、チーム医療の一員として医療支援を考えることができる。
履修上の注意事項	講義前に必ず教科書の該当箇所を読んでくること。
評価方法	小テスト、期末試験、グループワーク活動状況、レポート（グループで1部）などから総合的に評価する。
テキスト	高齢者リハビリテーション実践マニュアル 宮越浩一 編、メジカルビュー社
参考文献	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第3版 医学書院 そのほか、その都度指示します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	中野：理学療法士として病院勤務経験あり 山本：理学療法士として病院勤務経験あり 森下：理学療法士・介護支援専門員として病院等勤務経験あり

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	高齢者のリハビリテーション（総論） 担当；森下		
2	認知症（1） 担当；中野		
3	認知症（2） 担当；中野		
4	排尿障害 担当；中野		
5	高齢者の転倒転落 担当；山本		
6	転倒に関する評価 担当；山本		
7	転倒予防 担当；山本		
8	廃用症候群 担当；森下		
9	リスク管理（1） 担当；森下		
10	リスク管理（2） 担当；森下		
11	高齢者の精神機能特性 担当；森下		
12	在宅におけるリハビリテーション 担当；森下		
13	リハビリテーションの実際（GW：基礎知識の確認） 担当；森下・山本		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	リハビリテーションの実際（GW ：評価 計画の作成） 担当；森下・山本		
15	リハビリテーションの実際（GW ：問題 点の抽出・治療計画作成） 担当；森下・山本		

基本情報

科目名	がんのリハビリテーション学
時間割コード	0333005901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	中野 聡太
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
森下 志子、中野 聡太

詳細情報

授業の目的・到達目標	2010年に診療報酬にて「がん患者リハビリテーション料」が設けられた。本講義では、がん治療やがんの進行によってADLやQOLの低下をきたす者に対して、医療チームの一員として理学療法を実践できるようになるための基礎知識を習得する。
履修上の注意事項	がん医療は日進月歩であり、情報量が非常に多い分野である。授業毎に教科書等を用いて十分な予習（120分）、授業資料等を用いて復習（120分）を行うこと。
評価方法	試験を100%として評価する。
テキスト	宮越 浩一：がんリハビリテーション実践マニュアル . メジカルビュー社 . 2021
参考文献	適宜，紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者（中野、森下）は理学療法士として病院勤務経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	精神心理的問題とコミュニケーションスキル（中野）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
2	がんのリハビリテーションの必要性・がんの特徴（中野）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
3	がんの分類と治療の原則（中野）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
4	化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
5	周術期リハビリテーション（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
6	ADL・IADL障害への対応（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
7	緩和ケア概論（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
8	がん疼痛の機序と評価（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
9	疼痛以外の身体症状に対する緩和ケア（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
10	嚥下の基礎（中野）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
11	嚥下と発声の障害（中野）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
12	療養場所の選択と地域連携（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
13	がんのリハビリテーションの実際（基礎編）（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	
14	がんのリハビリテーションの実際（応用編）（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	終末期症例への対応（森下）	教科書等を用いた予習（120分）、授業資料等を用いた復習（120分）	

基本情報

科目名	小児理学療法学
時間割コード	0302305101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉田 勇一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
吉田 勇一

詳細情報

授業の目的・到達目標	ねらい：小児理学療法の対象となる疾患(脳性麻痺、遺伝性疾患、小児整形外科疾患など)の特徴と理学療法について教授する。 到達目標：小児理学療法の評価方法、問題点の抽出、プログラムについて記述できることを目標とする。
履修上の注意事項	基礎科目となる人間発達学を復習すること。シラバスに沿って授業を実施するので、前回の授業の続きを予習すること。予習の際には、教科書や授業時に配布した資料を使用すること。復習の際には、必ず学習ノートを作成すること。学習ノートが課題レポートになるので、いつでも提出できるように準備を整えておくこと。学習ノートの詳しい説明は、オリエンテーションで解説する。
評価方法	試験70%、課題レポート20%、予習・復習による自主的学修態度10%
テキスト	上杉雅之(監修)：イラストでわかる小児理学療法, 医歯薬出版株式会社。
参考文献	医療情報科学研究所(編集)：病気がみえる(脳・神経), メディックメディア。 上杉雅之(監訳)：乳幼児の運動発達検査—AIMSアルバータ乳幼児運動発達検査法, 医歯薬出版。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉田 勇一：小児施設勤務経験あり

授業計画

授業計画
基礎科目となる人間発達学を復習すること。シラバスに沿って授業を実施するので、前回の授業の続きを予習すること。予習の際には、教科書や授業時に配布した資料を使用すること。復習の際には、必ず学習ノートを作成すること。学習ノートが課題レポートになるので、いつでも提出できるように準備を整えておくこと。学習ノートの詳しい説明は、オリエンテーションで解説する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	小児理学療法概論		
2	症例を通した記録方法(歩行器歩行、臥位姿勢、車いす移乗)		
3	正常発達の復習(0~12ヵ月まで、原始反射を含む)		
4	脳性麻痺の定義と分類		
5	小児理学療法の評価(GMFCS、MACS、PVL、股関節脱臼)		
6	小児理学療法の評価(共同運動、痙性、相反神経支配)		
7	小児理学療法の評価(連合反応、GMFM、PEDI)		
8	脳性麻痺(両麻痺)の臨床像と評価		
9	脳性麻痺(片麻痺)の臨床像と評価		
10	脳性麻痺(アトーゼ)の臨床像と評価		
11	重症心身障害児(者)の臨床像と評価		
12	二分脊椎、ペルテス病の臨床像と評価		

授業計画

基礎科目となる人間発達学を復習すること。シラバスに沿って授業を実施するので、前回の授業の続きを予習すること。予習の際には、教科書や授業時に配布した資料を使用すること。復習の際には、必ず学習ノートを作成すること。学習ノートが課題レポートになるので、いつでも提出できるように準備を整えておくこと。学習ノートの詳しい説明は、オリエンテーションで解説する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	筋ジストロフィーの臨床像と評価		
14	NICU、発達障害の臨床像と評価		
15	ダウン症、整形疾患の臨床像と評価		

基本情報

科目名	小児理学療法学演習
時間割コード	0333005401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	吉田 勇一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
吉田 勇一

詳細情報

授業の目的・到達目標	ねらい：小児理学療法に必要な評価方法を習得すること。また治療技術に関する基礎を学ぶ。 到達目標：正常な姿勢・動作、また異常な姿勢・動作の評価ができるようになること。
履修上の注意事項	演習の基礎科目となる人間発達学、小児理学療法学の復習をしておくこと。レポート課題を中心に演習を実施していくので、レポートを必ず提出して積極的にグループ討議すること。授業中に予習課題を提示するので、グループ討議して予習をすること。授業中の実技指導や授業終了時のまとめを基に、各回の復習を確実に実施して、実習で必要になる実践的技能を養うこと。
評価方法	ペーパー試験50%、レポート30%、学習態度20%などを評価する（特にグループ討議の際の態度を重要視する）
テキスト	上杉雅之(監修);イラストでわかる小児理学療法学演習。医歯薬出版。
参考文献	上杉雅之(監修);イラストでわかる人間発達学。医歯薬出版。 上杉雅之(監修);イラストでわかる小児理学療法。医歯薬出版。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉田 勇一：理学療法士として小児施設勤務

授業計画

授業計画
授業計画 吉田：理学療法士として病院勤務経験 1、課題としてレポートを提出 2、各自のレポートに関してグループ内またはグループ間で討議する 3、レポートに関する解説 4、レポートを基に実技練習

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。進め方、グループ討議、レポートについて。		
2	問診に関するロールプレイ。実際の臨床実習場面を想定して。		
3	リスク児の評価に関するグループワーク		
4	リスク児の統合と解釈、理学療法の実際		
5	脳性麻痺（痙直型両麻痺）の評価に関するグループワーク		
6	脳性麻痺（痙直型両麻痺）の統合と解釈、理学療法の実際		
7	脳性麻痺（痙直型片麻痺）の評価に関するグループワーク		
8	脳性麻痺（痙直型片麻痺）の統合と解釈、理学療法の実際		
9	筋ジストロフィー症の評価に関するグループワーク		

授業計画

授業計画

吉田：理学療法士として病院勤務経験

- 1、課題としてレポートを提出
- 2、各自のレポートに関してグループ内またはグループ間で討議する
- 3、レポートに関する解説
- 4、レポートを基に実技練習

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	筋ジストロフィー症の統合と解釈、理学療法の実際		
11	二分脊椎の評価に関するグループワーク		
12	二分脊椎の統合と解釈、理学療法の実際		
13	重症心身障害児（者）の評価に関するグループワーク		
14	重症心身障害児（者）の統合と解釈、理学療法の実際		
15	訪問リハビリテーションの実際		

基本情報

科目名	文学
時間割コード	0302110101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義で日本文学においては、日本近代文学の巨匠夏目漱石が切り開いた近代小説の世界とは何か、彼の文学の人生についてアプローチし彼の心を理解する。中国文学から受けた影響、そして西洋文学から受けた影響を学ぶことで漱石についての理解を深める。
履修上の注意事項	夏目漱石の作品を読んでいくが、講義の時間だけでは限りがあるので、事前予習、事後復讐など積極して頂ければ、よりスムーズに講義が進むことができる。
評価方法	授業内に課す小レポート（40点）+学期末試験（もしくは学期末レポート）（60点）
テキスト	『夏目漱石 東洋と西洋の狭間で』 高 継芬著 梓書院 及び講義時プリント配布
参考文献	課題図書は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス明治時代の日本文学について説明する。		
2	夏目漱石という人物について、人生歴、交友、側面からアプローチする。		
3	『草枕』を始め、『虞美人草』『三四郎』『門』等の作品から文学観の変化をとらえる。		
4	熊本小温泉を舞台にした『草枕』の背景について初期の文学観について学ぶ。		
5	『草枕』を読みながら作者の西欧文化に対する考えを理解する。		
6	夏目漱石のイギリス留学について説明する。		
7	『永日小品』を読みながら夏目漱石がイギリスに対する印象を理解する。		
8	『永日小品』の「下宿」を解説する。		
9	『永日小品』の「印象」を解説する。		
10	『永日小品』の「昔」を解説する。		
11	『永日小品』の「過去の匂い」を解説する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	『永日小品』の「暖かい夢」を解説する。		
13	夏目漱石の作品を読みながら中国文学から受けた影響を理解する。		
14	『草枕』を読みながら作者の東洋文化に対する考えを理解する。		
15	夏目漱石の作品を学んだ総まとめ。		

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0302110201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0302110301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心理学という学問分野の全体像とその広がりについて学んでゆく。 心理学は実証科学であり、様々なエビデンスに基づいて「人の心」を明らかにすることを目指している。そのような学問背景を持つ心理学が人間の多種多様な側面をどのように説明しているかを古典的研究から最新研究まで幅広く概観することで、心理学がどのような学問であるかについての理解を深めることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学とはどのような学問であるのかを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	使用せず、講義中に随時資料を配布する。
参考文献	「心理学ビジュアル百科 基本から研究の最前線まで」 越智啓太（編） 創元社 2016 「カラー版 マイヤーズ心理学」 D・マイヤーズ（著） 西村書店 2015
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：心理学のこれまでとこれから	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
2	感情と心理学：単純接触効果、情動の二要因説、ソマティック・マーカー仮説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
3	社会の中の心理学：対人魅力、認知的不協和、傍観者効果、フレーミング効果	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	パーソナリティと心理学：Big Five理論、権威主義的パーソナリティ、アイヒマン実験	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
5	心の病と健康の心理学：精神疾患、向精神薬、レジリエンス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
6	脳と心の関係：脳損傷、機能局在、ミラーニューロン	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
7	進化と心理学：利己的な遺伝子、囚人のジレンマとシッペン戦略、ソーシャルブレインズ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
8	こころの発達：ピアジェの認知発達、心の理論、新生児模倣、アタッチメント	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
9	学習と心理学：条件づけ、観察学習、社会的学習理論	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
10	感覚の心理学：感覚モダリティ、共感覚、ラバーハンド錯覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
11	音の世界の心理学：音の性質、メロディらしさの認知、心を動かす音楽	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
12	音声とコミュニケーションの心理学：印象伝達、非言語コミュニケーション、声を操る	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
13	記憶・注意の心理学：記憶の再構成、プライミング効果、チェンジブラインドネス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	意識・認識と心理学：因果関係の知覚、AIとニューラルネットワーク、意識の神経相関説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
15	まとめ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	0302110401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回授業内容に関して必ず教科書の当該箇所を読んでおくこと。復習においては、キーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス		
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係		
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い		
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動		
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり		
6	ことばとコミュニケーションの発達		
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響		
8	仲間関係とこころの理解		
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの		
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題		
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方		
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感		
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成		
14	成人期から老年期の発達と課題		
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援		

基本情報

科目名	法学
時間割コード	0302110601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前・事後学修について 事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間） 事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活——講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1）——親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2）——婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3）——相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1）——悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2）——クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1）——法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2）——不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	法学（日本国憲法）
時間割コード	0302110701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、 基本的人権の意義および機能、 基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能・財政）、 行政情報へのアクセス（情報公開）、 行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと雇用機会均等法）		
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権——参政権、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政権保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	経済学
時間割コード	0302110901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松尾 隆
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
松尾 隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	講義は、空気、森林、水、土地、海、企業、人、お金などに絡めて、話をします。世界が抱える様々な経済問題も実は身近な問題であるのだということを理解してもらい、今後の思考の素材にしてもらいたいとおもいます。
履修上の注意事項	配付する資料を参考にして、知らない経済用語等について調べ、復習では、内容で解らなかった点を理解し、さらには視野を広げるために、図書館などを利用してください。
評価方法	試験 100%
テキスト	特に使用せず、講義の際にプリントを配布する。
参考文献	講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	プロローグ：講義内容および講義目標		
2	基礎知識：現代における貨幣と金融の関係		
3	空気：環境問題と各国の経済的利害		
4	森林：世界の木材貿易と日本の林業		
5	水：世界の水問題と水ビジネス市場の拡大		
6	土地：世界の食糧生産の現状と農業問題		
7	海：世界の漁業生産の実情と「コモンズ」概念		
8	石油：原油生産と脱炭素社会への動き		
9	貿易：市場を巡る競争とルール（WTO, FTA）		
10	企業：中国、ASEAN諸国と日本の経済的結びつき		
11	人：国際的な人の大移動と問題点		
12	援助：日本のODA制度と企業の連携		
13	お金：年金基金と投機		
14	国連：SDGsとESG		
15	エピローグ：講義の総括		

基本情報

科目名	比較文化論
時間割コード	0302120101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、アジア諸国の文化・社会・価値観・人々の考え方を、具体的な事例に基づいて日本と比較し、異文化理解を図ると共に、人間と文化の総合的な関係を理解する。
履修上の注意事項	授業前に資料（プリント）などを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	レポート80%、発表20%で評価する。
テキスト	毎回、資料（プリント）などを用意し、配布する。
参考文献	授業の中で、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。中国あるいは東南アジアの文化について（安藤・高）		
2	日韓文化の遠近1（金）		
3	日韓文化の遠近2（金）		
4	日韓文化の遠近3（金）		
5	医療と福祉・日本と韓国（金）		
6	障害者福祉の基本・国際比較（金）		
7	日中文化の違い1（高）		
8	日中文化の違い2（高）		
9	日中文化の違い3（高）		
10	中国人の人間愛について（高）		
11	中国人の結婚文化について（高）		
12	日本と中国の教育政策について（安藤・高）		
13	中国料理の由来について（高）		
14	中国茶の文化について（高）		
15	中国の孫子兵法と日本の太平洋戦争（安藤・高）		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	0302120501
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義のねらいは、受講者が半期の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を習得し、基礎的な日常会話ができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	中国について学ぼう 中国語の発音 声調・単母音の学習		
2	複合母音・子音の学習		
3	人称代名詞、否定、疑問など 浦東空港 にて		
4	名詞、副詞の用法 タクシーに乗って		
5	所在を表す動詞「在」 ホテルでお茶 を		
6	「的」の省力 場所を表わす代名詞、存 在を表わす「有」について学ぶ 私の家 族		
7	“喜歡”＋同市の使い方について学ぶ 趣味は映画です		
8	願望を表す助動詞“想” 大学の図書館 へ		
9	数詞、量詞について学ぶ 放課後		
10	前置詞、完了の「了」について学ぶ 上 海交通		
11	連動文 地下鉄付近にて		
12	助動詞、経験を表わす表現について学ぶ		
13	主文述語文、比較の表現 変化を表す表 現など ちょっとおながいが空いた		
14	結果補語、方向補語について学ぶ 突然 の雨		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	0302120601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義は、受講者が前期の中国語会話で修得基礎知識をもとに、より豊かな中国語の表現力および会話力を身につけることができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	レポート 20% 小テスト 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海 初級中国語』朝日出版社最新版 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	前期の学習内容を復習		
2	自分について中国語で表現してみよう		
3	家族について中国語で表現してみよう		
4	日常生活について中国語で表現してみよう 上海料理を食べる		
5	日常生活について中国語で表現してみよう おなががいっぱいです		
6	にちじょう生活について中国語で表現してみよう 外たんの夜景		
7	日常生活について中国語で表現してみよう 上海語はおもしろい		
8	日常生活について中国語で表現してみよう ホテルの部屋から		
9	これまでの学習内容をふりかえって		
10	日常生活について中国語で表現してみよう どうしたの		
11	日常生活について中国語で表現してみよう 上海は魅力的		
12	日常生活について中国語で表現してみよう またあいまよう		
13	大学生のアルバイトを表現しよう		
14	留学について中国語を表現してみよう		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	0302120701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	木 2
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「ハングル」という文字についての理解と日本語と韓国語との比較をしながら、韓国語の基礎文法を理解する。また、韓国への観光・旅行や文化体験などの場合、簡単な会話が応用できる。
履修上の注意事項	授業後には繰り返し復習する。
評価方法	授業参加への態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点
テキスト	やさしい韓国語（初級）梁礼先・権点淑・曹恩美 朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1．オリエンテーション		
2	2．「ハングル」文字の関する歴史的背景、文字の構成、文字の書き順について		
3	3．韓国語の特性についての日本語との比較説明及び子音・母音について		
4	4．「パッチム」とパッチムの連音化		
5	5．基本的な挨拶に関連する会話		
6	6．自己紹介などの簡単な会話		
7	7．小グループに分け、挨拶・自己紹介などを韓国語で行う（復習と練習）		
8	8．韓国の文化に関する理解（ビデオ鑑賞）		
9	9．韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 1		
10	10．韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 2		
11	11．韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 3		
12	12．日本と韓国との文化の差について		
13	13．日常生活での基本的な会話 1		
14	14．日常生活での基本的な会話 2		
15	15．日常生活での基本的な会話 3		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	0302120801
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	韓国語会話 に続けて韓国の文化・歴史への理解・関心を深めながら、簡単な会話は日常生活の場面で応用できる。
履修上の注意事項	○ 韓国語会話 を履修していない方も可能です。 ○ 韓国語会話 を履修した方は、その内容を復習する。
評価方法	1. 授業への出席や授業参加への意欲・態度 50点 2. 授業中のミニテスト 50点
テキスト	資料を配布する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. オリエンテーション		
2	2. 「韓流ブーム」に関する日本の若者の見解について		
3	3. 韓国語会話 の復習－挨拶・自己紹介など		
4	4. 具体的な場面を想定した日常会話（1）		
5	5. 具体的な場面を想定した日常会話（2）		
6	6. 具体的な場面を想定した日常会話（3）		
7	7. 日本・韓国の大学との違い、大学生交流の重要性及びその役割などについて		
8	8. 日常場面で応用できる会話（1）		
9	9. 日常場面で応用できる会話（2）		
10	10. 日常場面で応用できる会話（3）		
11	11. 韓国の映画鑑賞		
12	12. 韓国語での日記・作文の練習（1）		
13	13. 韓国語での日記・作文の練習（2）		
14	14. 韓国の文化・医療・福祉の動向について		
15	15. 韓国への留学・就職に関する情報や諸大学の紹介		

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0302120901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語それ自体をも対象としながら、特定の言語構造のなかで思考をおこなうとき、言語が思考に影響をおよぼすという事実を知ることゝなる。講義を通じて、学修者はドイツ語の言語としての構造的特性を理解できるようになる。
履修上の注意事項	独和辞典の購入と教室必携は、早い時期にすること。ドイツ語学習は、辞書の引き方それ自体が学習内容である。辞書による予習・復習を心掛けてください。
評価方法	講義内で合計10回のミニテストを実施し、それらを総合的に評価して最終評価とする。
テキスト	プリントを配布する。テキストは用いない。
参考文献	岡本和子『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社 橋本政義『あなただけのドイツ語家庭教師』国際語学社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前学習】ドイツのことについて、知っていることを書き出してみよう。（2時間） 【事後学習】地上波テレビやBS放送のドイツ語関連のテレビ番組をチェックしてみよう（2時間）	
2	ドイツ語の文字と発音	【事前学習】ドイツ語関連のスマホアプリ（無料版）をいくつかダウンロードして遊んでみよう。（2時間） 【事後学習】You Tubeでドイツ語の歌を聴いてみよう（2時間）	
3	名詞の性と冠詞	【事前学習】大都市の大きな本屋さんに çıkかけてドイツ語の辞書を買って求めよう。（2時間） 【事後学習】You Tubeでドイツ語の映画を見てみよう（2時間）	
4	数字	【事前学習】英語の綴りで1から100まで書き出してみよう（2時間） 【事後学習】ドイツ語で0から10まで覚えよう（2時間）	
5	動詞の現在形	【事前学習】ドイツ語で11から100まで覚えよう（2時間） 【事後学習】1本80円セールのツタヤかゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう（2時間）	

授業計画

毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	冠詞と名詞の格変化	【事前学習】ドイツ語のテレビ番組をチェックして録画か視聴してみよう（2時間） 【事後学習】1本80円セールのツタヤかゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう（2時間）。	
7	疑問代名詞	【事前学習】小さめの単語用ノートを購入し、定冠詞付きで名詞を整理していこう（2時間） 【事後学習】単語ノートに動詞を不定形で整理していこう（2時間）	
8	人称代名詞	【事前学習】人称代名詞を覚えよう（2時間） 【事後学習】人称代名詞の格変化を覚えよう（2時間）	
9	不定冠詞類（mein型）	【事前学習】定冠詞を覚えよう（2時間） 【事後学習】定冠詞の格変化を覚えよう（2時間）	
10	分離動詞（1）	【事前学習】不定冠詞を覚えよう（2時間） 【事後学習】不定冠詞の格変化を覚えよう（2時間）	
11	疑問文	【事前学習】動詞を5個覚えよう（2時間） 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう（2時間）	
12	否定文	【事前学習】動詞を5個覚えよう（2時間） 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう（2時間）	
13	語順	【事前学習】ドイツ語の歌をダウンロードし、歌詞を書き出してみよう（2時間） 【事後学習】書き出した歌詞を暗記しよう（2時間）	
14	分離動詞（2）	【事前学習】動詞5個を辞書で調べて読んでみよう（2時間） 【事後学習】動詞5個を単語ノートに不定形で書いて覚えよう（2時間）	
15	まとめ	【事前学習】スマホの地図ナビ機能にドイツ語版をダウンロードして使ってみよう（2時間） 【事後学習】大学の帰り道、ドイツ語版のスマホナビを聞いて、方角を表すドイツ語をマスターしよう（2時間）	

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0302121001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語圏の映画を見て、ドイツ語を部分的にでも聞き取れるようになることを目指す。戦争の歴史とナチス政権樹立のプロセスについても、映画を通じて考察を深める。
履修上の注意事項	独和辞典を引きまくるという態勢を築いて欲しい。 またYou TubeやBS放送でドイツ語圏の音楽番組やニュース番組を楽しむ習慣をもつとよい。 テレビ番組「旅するドイツ語」を録画して、絶えずドイツ語を耳で拾って生の言葉と文化に触れて欲しい。
評価方法	講義内で合計4回のミニレポートを実施し、それらを総合的に判断して最終評価とする。
テキスト	テキストはとくに指定しない。
参考文献	清水紀子著『すてきなドイツ語』白水社 岡本和子著『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：何を学ぶか？	【事前学習】気になっているドイツの文化や暮らしについて、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】講義を聞いて自分が興味を持ったことについて、少し調べてみよう（2時間）	
2	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（前半）	【事前学習】ナチス政権について、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】ナチス政権について、少し調べてみよう（2時間）	
3	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（後半）	【事前学習】映画を見て、理解できなかったところ、気になったことを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
4	映画を見て考え、議論する（1）どのような人たちがナチス政権に排除されたのか？	【事前学習】ナチス親衛隊の構成員はどのような人たちだったのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】日本の憲兵について、調べてみよう（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	映画「帰ってきたヒトラー」を見る（前半）	【事前学習】アドルフ・ヒトラーについて、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、わからなかったこと、不思議に思ったことがあれば、書き出してみよう（2時間）	
6	映画「帰ってきたヒトラー」を見る（後半）	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
7	映画を見て考え議論する（2）どのような人たちがナチス政権を支持したのか？	【事前学習】アドルフ・ヒトラーの実際の演説をYouTubeなどでいくつか見てみよう（2時間） 【事後学習】ヒトラーは、なぜ多くの人に支持されたのかを論じてください（A4の用紙2枚程度）（2時間）	
8	映像「ヒトラーの演説」を見る（前半）	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう（2時間）	
9	映像「ヒトラーの演説」を見る（後半）	【事前学習】ドナルド・トランプ氏は、どのような人たちに支持されていたのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】映像を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
10	映像を見て考え議論する（3）なぜヒトラーは支持されたのか？	【事前学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう（2時間） 【事後学習】講義を聞いて、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
11	映像を見て考え議論する（4）ネオナチズムとティーパーティー	【事前学習】ティー・パーティーについて調べてみよう（2時間） 【事後学習】ネオナチズムとティーパーティーの共通点、違いについて、調べたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
12	ドイツ語の童話を読む	【事前学習】好きなグリム童話をひとつ日本語訳で読んでみてください（2時間） 【事後学習】その童話について、少し調べてみよう（2時間）	
13	ドイツ語の歌を聞く	【事前学習】あなたが好きなドイツ語の歌をひとつ、YouTubeやCDなどで聴いてみてください（2時間） 【事後学習】その歌詞を調べて書き出してみよう。できれば暗唱しよう。（2時間）	
14	ドイツ語のパズルを解く	【事前学習】スマホに無料のドイツ語のゲームアプリを一つダウンロードして遊んでみましょう（2時間） 【事後学習】ゲームに出てきた単語を3つ、単語ノートに書きだして覚えましょう（2時間）	
15	まとめ	【事前学習】日本語字幕のついたドイツ語の映画をレンタルまたはダウンロードして鑑賞しよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、思ったこと、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	

基本情報

科目名	障害者言語
時間割コード	0302121101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	最近、ろう者による当事者組織である(一財)全日本ろうあ連盟が中心となって進めている手話言語法制定運動の全国的な取り組み、展開から地域では手話言語条例を制定しているところが増え、手話文化が定着している。 手話でコミュニケーションを図るためには、スピーキング能力が不可欠であり、本講義では自分のことを手話で話し、身近なテーマについて手話で意見を述べるができるような力を育成する。
履修上の注意事項	1)事前・事後学習については、講義毎に指示する(講義に出る前には、わからない言葉、用語の意味をある程度、辞典等で調べ整理して出席することが好ましい)。 2)授業では、パワーポイントと手話で話す(手話がわからない学生はパワーポイントや教科書等の文字情報を通して理解を深めてほしい)。
評価方法	試験(筆記・実技)100%
テキスト	全日本ろうあ連盟著(2007年)『新手話ハンドブック』,三省堂
参考文献	『手話教育今こそ! 障害者権利条約から読み解く』高田英一(日本手話研究所長)著他
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(この講義を受講にあたって)		
2	講義「手話の基礎知識」		
3	実技「手話で自己紹介をする・指文字(大曾根式手指記号)」		
4	実技「一日の生活・通勤・通学」編		
5	個別テスト(「自己紹介」)		
6	実技「趣味・スポーツ」編		
7	実技「地名・旅行・観光地」編		
8	実技「仕事・職業」編		
9	実技「病院・病気」編		
10	個別テスト(「手話でスピーチ」)		
11	講義「手話を日本語文に翻訳する」		
12	実技「手話を日本語文に翻訳する」(1)		
13	実技「手話を日本語文に翻訳する」(2)		
14	実技「手話を日本語文に翻訳する」(3)		
15	まとめ		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0302121201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	中国語の文章を読むことによって中国の古代の文化や現代の中国事情について理解ができる。 古代の文化は論語中心に学ぶことができる。 現代の中国事情について中国の人口、地理、民族、飲食習慣文化などについて理解することができる。
履修上の注意事項	事前に授業内容を予習することと毎回授業後復習すること。
評価方法	レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜に紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション		
2	中国の概況		
3	中国の電子決済事情		
4	中国の習慣		
5	中国の礼儀作法		
6	論語		
7	論語		
8	中間復習まとめ		
9	中国の観光		
10	中国の飲食習慣		
11	中国の節日		
12	中国の交際礼儀		
13	中国の現代の大学生		
14	現代中国の抱える問題		
15	総括まとめ		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0302121301
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	主として中国の現代事情を理解しつつ、その事象について分析考察します。受講者が伝統文化と現代文化の関連性や、中国特有の事情と日本お違いを理解することができる。
履修上の注意事項	事前に授業内容を予習してくることと事後復習してくることができれば授業がスムーズに進みます。
評価方法	レポート40% 小テスト20% テスト 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション（張・高）		
2	中国の消費観念（高）		
3	中国の就職事情（高）		
4	中国の婚姻（高）		
5	中国の教育事情（高）		
6	中国の健康観念（高）		
7	中国の定年後の娯楽（高）		
8	今までの振り返り（高）		
9	中国の医療事情（張）		
10	中国の観光事情（張）		
11	中国の伝統休日（張）		
12	中国の世界遺産（張）		
13	中国の伝統習慣（張）		
14	中国の伝統礼節（張）		
15	総括まとめ（張・高）		

基本情報

科目名	アジア文化
時間割コード	0302121401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
安藤 学、李 玄玉、高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	アジアの国々と地域の文化形成過程(文化史)を学修し、それぞれの文化における共通性と異質性を認識すること によって異文化への理解を深めることをねらいとする。
履修上の注意事項	アジア文化の関連する本を事前に読んでいただくとスムーズに受講できます。
評価方法	レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	タイの文化（その歴史と現在）（安藤）		
2	韓国と日本の違い（金）		
3	日韓文化の遠近（金）		
4	韓国から日本へ伝えられた様々な文化について（李）		
5	「飛鳥」という地名の意味、由来...（李）		
6	日本語の「鳥・とり」と韓国語の「D o r i」について（李）		
7	台湾の文化について（高）		
8	日中の歴史について（高）		
9	日中旅遊観光の文化について（高）		
10	日中教育の文化について（高）		
11	日中文化における共通性と異質性 漢字の比較（高）		
12	日中文化における共通性と異質性 論語について（高）		
13	日中文化における共通性と異質性 衣食住の比較（高）		
14	日本の文化を知る（高）		
15	文化についてのディスカッション（担当者全員）		

基本情報

科目名	基礎生物科学
時間割コード	0302130101
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	現代の先端医療には、生命科学の基礎研究成果（とくに分子・細胞レベルでの研究成果）が応用され始めている。 本科目では、生命科学の基礎研究が先端医療にどのように活かされているについて学び、知的探求心を涵養する。
履修上の注意事項	積極的に取り組む姿勢があれば、楽しみながら参加できる。 授業での活動は、いくつかの課題について資料・文献を調査すること、および、発表スライドを作成して発表することである。
評価方法	レポート50%、発表50%
テキスト	とくになし。
参考文献	とくになし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		自己紹介、グループ分け、課題決定
2	課題1の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。
3	課題1の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
4	課題1の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
5	課題1の発表スライドの概要作成（グループワーク）		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
6	課題1の発表スライドの詳細作成（グループワーク）		発表スライドの内容や体裁について精査する。
7	課題1の発表スライドの最終チェック（グループワーク）		発表スライドを完成させる。
8	課題1の発表スライドのプレゼンテーション（グループワーク）		課題についてスライドを使って発表する。
9	課題2の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	課題 2 の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
11	課題 2 の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
12	課題 2 の発表スライドの概要作成（グループワーク）		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
13	課題 2 の発表スライドの詳細作成（グループワーク）		発表スライドの内容や体裁について精査する。
14	課題 2 の発表スライドの最終チェック（グループワーク）		発表スライドを完成させる。
15	課題 2 の発表スライドのプレゼンテーション（グループワーク）		課題についてスライドを使って発表する。

基本情報

科目名	環境生物学
時間割コード	0302130201
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松岡 正佳
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
松岡 正佳

詳細情報

授業の目的・到達目標	微生物は私達の世界の一員として、多くは生命の維持に必要であり、また食品製造に使われているものもある。 しかし少数の微生物は人間に病気を引き起こす病原菌であり、この授業では病原性微生物に焦点を当て、それらが人間との摩擦を起こす原因や環境要因について学ぶ。 学修者は微生物の正確な知識を習得し、伝染病の防御の方法や、どのようにして微生物とうまく付き合っていくかについて知識を深めることができる。
履修上の注意事項	Power Pointを使った説明の後、設問が与えられる。次回までに解答しておいてください。
評価方法	3回のテストの合計点で評価します。
テキスト	プリントを配布します。
参考文献	The Microbial Challenge第2版、Jones and Bartlett Learning (2010年、英文) Krasner's Microbial Challenge第4版、Jones and Bartlett Learning (2020年、英文)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	松岡正佳：応用微生物工学の実験を大学にて指導

授業計画

授業計画
毎回の授業で配布するプリントの内容を、授業後によく読み、授業中に下線を引くように指示されたキーワードについて説明ができるようにする（復習、2時間）。各章末にある自己評価の問題（選択式）を解いてみる。分からないときは、プリントを参照し、どの部分に説明が書いてあるかをチェックする（2時間）。次回の授業で自己評価問題の解答が示されるので、間違った問題については再度、内容を確認しておく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	微生物の挑戦とはどういうものか。伝染病の引き起こされる要因について考察する。		
2	微生物の世界。微生物界を形成する多様な微生物種とその性質について学ぶ。		
3	微生物の有益な側面。コインのもう一つの面。		
4	細菌（バクテリア）。		
5	ウィルス。		
6	細菌の遺伝学。細菌における遺伝的交雑の機構について概観する。		
7	微生物病の概念。微生物とその宿主の出会いとは偶然であるという事実を認識する。		
8	疫学と微生物病の周期および院内感染。		
9	細菌による病気と感染経路。		
10	ウィルスによる病気と感染経路。		
11	原生動物および寄生虫による病気と感染経路。		

授業計画

毎回の授業で配布するプリントの内容を、授業後によく読み、授業中に下線を引くように指示されたキーワードについて説明ができるようにする（復習、2時間）。各章末にある自己評価の問題（選択式）を解いてみる。分からないときは、プリントを参照し、どの部分に説明が書いてあるかをチェックする（2時間）。次回の授業で自己評価問題の解答が示されるので、間違った問題については再度、内容を確認しておく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	免疫反応。免疫系により微生物由来の外来分子が認識・排除される機構について学ぶ。		
13	微生物病の管理。対処方法について知る。		
14	伝染病の管理における協力。伝染を防ぐ効果的な協力体制について知る。		
15	生物兵器や現代の伝染病。この授業のまとめ。		

基本情報

科目名	環境科学
時間割コード	0302130601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	人類や個人を取り巻く自然、社会、生活の環境を知り、人間活動が環境そして人間自身に与える影響を理解する。また、自分が生きている現代の環境問題や自分の子孫が生きる時代の環境問題への対処や解決方法を考察する。
履修上の注意事項	読書やレポート提出を数回、求める。
評価方法	授業中の取り組み（50％）レポート提出（50％）
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境科学オリエンテーション		
2	環境とは何か		
3	自然環境と人間		
4	地域の自然		
5	公害		
6	地球・生物圏・生態系		
7	水と生活環境		
8	都市環境と自然		
9	大気汚染		
10	人工化学物質と環境		
11	放射性物質		
12	循環型社会		
13	汚染者負担の原則		
14	今後の環境問題		
15	環境問題の解決策		

基本情報

科目名	物理学
時間割コード	0302130701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	物理学は、自然界のあらゆる出来事に対し、科学的思考によってその本質を明らかにしようという学問です。本講義は、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けることも目指します。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。
評価方法	筆記試験を行ない、その結果のみで評価します。
テキスト	使用しません。適宜、プリントを配布します。
参考文献	必要に応じ、講義中に示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
2	力のモーメント、槌子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
3	身体の構造と槌子、重心と安定性		
4	圧力、サイフォン、ドレナージ(吸引)		
5	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
6	重力と重力加速度、一様重力による運動		
7	等速円運動、単振動、波		
8	運動量と運動量保存則、はね返り係数		
9	仕事と力学的エネルギー		
10	種々のエネルギーとエネルギー保存則		
11	電場、静電気力；磁場、磁力		
12	電流、電位差、オームの法則		
13	電磁波、光		
14	直流回路、交流回路		
15	原子核と放射線、半減期		

基本情報

科目名	数学
時間割コード	0302130801
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学の基礎を理解し、問題演習を通して「論理的思考」や「数学的思考」ができるようになることを目指します。
履修上の注意事項	テキストを使用しないので、講義中のノートをしっかり取るだけでなく、事前学習が必要になる。また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をし、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶこと。 「数理的な思考」を身に着けるには、自分の頭で考えてみるのが大切です。
評価方法	定期試験のみで評価します。 毎行なう小テストは、理解度を確認するためのものなので、評価には入れないが、定期試験の問題として出題します（問題文や数字は変更します）。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	数と演算		
2	度数と分布		
3	算術平均，加重平均；幾何平均		
4	比・連比，比率（静的・動的）		
5	リスク比，オッズ比		
6	様々な関数，逆関数		
7	累乗関数とその性質		
8	指数関数とその性質		
9	対数関数とその性質		
10	グラフの描き方・読み方		
11	経験的確率と理論的確率		
12	根元事象と場合の数，順列・組合せ		
13	2項分布とポアソン分布		
14	条件付き確率，期待値		
15	ベイズの定理		

基本情報

科目名	化学
時間割コード	0302130901
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、専門科目（生化学、薬理学、栄養学、医用工学など）の土台となっている化学の基礎的な知識について学ぶ。また、食品をはじめ身の回りにある物質について科学的に考え、正しく理解できるようになる。
履修上の注意事項	高校で化学を履修しなかった、化学を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。
評価方法	中間試験 50%、単位習得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	看護系で役立つ化学の基本（有本淳一・西沢いずみ、化学同人） コ・メディカル化学 - 医療系・看護系のための基礎化学 - （齋藤勝裕ら、裳華房） 生理学・生化学につながるていねいな化学（白戸亮吉ら、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
2	原子の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
3	イオンと分子	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
4	化学結合	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
5	原子の質量	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
6	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
7	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
8	中間テスト	これまでの授業内容をしっかりと復習しておくこと	
9	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
10	酸・塩基と中和	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
11	pHと酸性・中性・塩基性	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
12	緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
13	酸化と還元	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	化学反応と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
15	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

基本情報

科目名	生物学
時間割コード	0302131001
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	木 4
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では「細胞」を軸にして、生物（とくにヒト）のからだの構造とはたらきについて学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学、微生物学など）のより深い理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で生物を履修しなかった、生物を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。 ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。
評価方法	中間試験 5 0 %、単位修得試験 5 0 %
テキスト	プリント配布
参考文献	1．わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学、第 2 版（田村隆明、南山堂） 2．基礎から学ぶ生物学・細胞生物学、第 3 版（和田勝、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	環境と生命	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	生体構成物質	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	代謝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	エネルギーの獲得と利用	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	酵素のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	遺伝子DNAと染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	遺伝子のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	遺伝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	生体防御	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	災害支援演習
時間割コード	0302201501
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学、花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	災害支援の場合、常に支援協力活動にあたる要員の為に、快適な宿泊設備、生活物資が用意されているとは限らない。むしろ多くの場合が、災害被災地であったり、生活物資の不足する場所での支援協力活動である。支援協力活動において任務を遂行するために、まず自分自身の安全の確保と生命の維持が確保されなければならないし、またチームワークも重要である。この演習では、協力協同の精神を涵養し災害場面を想定して自活生存、生命維持のための基本的な方法と共に、支援活動に必要な基本技術を修得できる。
履修上の注意事項	演習に際しては、安全確保のために指定の作業着・帽子・作業靴を着用する。（作業着等については、貸与するが、食事代と作業服のクリーニング代は各自負担）演習前に出された課題を完成させて授業に臨み、演習後は演習で学んだことを復習をすること。事前に配布された資料を学習しておく、演習終了後は各自で復習を定期的におこなうこと。
評価方法	実技試験（80％）、演習態度（20％）
テキスト	プリントを配布する
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	花田雄二：東京消防庁 消防士の経験あり

授業計画

授業計画
この演習では、「海上訓練」と「陸上訓練」に分けて集中的に実施する。 「海上訓練」では短艇(カッター)を用いて協同協力の精神を養い、「陸上訓練」では実際にテントを設営し野営して自活生存方法を修得する。また「海上訓練」「陸上訓練」を通じてチームワークの重要性を学ぶ。実施の時期については、前もってオリエンテーションを開き説明指導する。ただしこの演習で、他の授業に支障(公欠で授業を欠席)がでないように、夏季休暇中の実施する。 「海上訓練」(9月上旬 4日間 長洲海洋センター/前面海域) 短艇(カッター)・帆走(ヨット)・結索(ロープワーク)・安全管理・気象観測・溺者救助・応急処置・信号通信・統率(指揮)法 「陸上訓練」(9月中旬 2泊3日 大学構内/蛇が谷公園) オリエンテーリング(地図見・コンパス見方)・ロープ技術(ロープ渡り・降下等)・野営方法(テント設営・炊飯等)・安全管理・救急処置(傷病者搬送方法含む)・統率(指揮)法 「海上訓練」・「陸上訓練」とも、学内において事前指導を行った後に実施する

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	理学療法評価学演習
時間割コード	0333002401
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一、森下 志子、中野 聡太、山本 良平、角園 恵

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床実習を前提とした、各評価技術の確認と習熟を目標として、各単元の技術が確実にできるようにする。
履修上の注意事項	確実な技術の取得・習熟にあることから、十分な予習・復習すること。また履修時は、実習着を着用し、治療者として相応しい身だしなみとすること。
評価方法	全ての単元(コマ)の知識・技術をそれぞれ100%で評価する。また全てについて60%以上の評定を得た場合に履修認定を行う。なお、評定においては、レポートや授業への取り組み状況を成績に加味する。これらが不十分な場合(レポート、取組不良など)は、評点から減点とする。
テキスト	1)田崎義昭：ベッドサイドの神経のみかた、南山堂(購入未確認) 2)松沢正：理学療法評価学、金原出版(購入未確認) 3)津山直一訳：新徒手筋力検査法第9版、共同医書出版社(購入未確認)
参考文献	1)PT・OTのための測定評価 DVDシリーズ1 ROM測定(三輪書店)(最新刊) 2)その他は、その都度提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田 輝一、中野 聡太、森下 志子、角園 恵、山本 良平 *全員、理学療法士として病院勤務

授業計画

授業計画
ABクラスを3グループに分け、5名の教員が各項目を5コマずつ(計15コマ)担当し、学生は各項目について5コマずつでローテーションする。
1. 形態測定(四肢長、周径)、反射検査 :5コマ(濱田) 1)四肢長・上肢 2)同・下肢 3)周径 4)反射検査 5)小テスト(実技・筆記)と振り返り 2. ROMテスト :上肢・頸部・体幹・下肢:5コマ(中野、森下) 1)上肢 2)頸部・体幹 3)下肢:股・膝 4)下肢:足・足部 5)小テスト(実技・筆記)と振り返り 3. MMT :上肢、下肢・頸部・体幹:5コマ(角園、山本) 1)頸部・肩甲帯 2)肩・肘・手 3)膝・足 4)体幹・股関節 5)小テスト(実技・筆記)と振り返り

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	臨床実習
時間割コード	0333005501
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	3.0
学年	3
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	到達目標 (1)問診ができる (2)観察（視診・触診）ができる (3)他部門からの情報収集ができる (4)代表的な疾患について検査・測定ができる (5)専門職としてチームワークの必要性を経験する
履修上の注意事項	事前の準備を十分に行い、実習実施に関しては指導者（CE）の指導に従うこと。特に、指示されていないことは勝手に実施しないこと。リスク管理を十分行い事故・怪我等が発生しないよう細心・最善の注意を払うこと。 学内で勉強した既有知識が必要になるため、予習を必ず行うこと。また実習後は、習った知識を定着させるため、デイリーノートなどを活用し、復習を必ず行うこと。
評価方法	臨床実習理学療法評価技術確認試験（60%）、臨床実習 結果報告および実習記録・レポートなどの提出物、実習前・後指導における参加および理解度（40%）で評価する。 なお、実習前・後指導、実習において無断欠席は認められない。また、欠席が出席すべき日数を超えた場合には、評価を受ける資格を失うので注意すること。 実習前・後指導において随時、知識・技術並びにレポートなど提出物のフィードバックを行う。
テキスト	特に指定しない
参考文献	特に指定しない
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
1) 実習前指導（3年次実習前） 臨床実習の目的、意義、心得等、実習に必要な項目について事前にオリエンテーションを行う。また、実習施設への手続き等の実際的な指導を行う。 模擬患者を用いた理学療法評価演習およびグループディスカッションを行う。 臨床実習 に臨む準備（取り組み）が十分であるか否かを判断するために学力・実技試験および面接を必要に応じて実施する。 < 注意 > 事前指導を受けなかった者は履修許可を取り消す。 また、事前指導を受けた者においても、参加状況あるいは取り組みが不十分で、臨床実習 の履修に問題が生じると予想される場合は、学科会議の 審議を経て学科長が履修の許可を取り消すことがある。 2) 臨床実習 （3年次2学期 3週間） 実習施設の指導者（CE）のもとで実習を行う。 3) 臨床実習理学療法評価技術確認試験 臨床実習 で経験した評価が記載された「理学療法評価技術チェックリスト」を基に理学療法評価に関する知識、技術を確認する。 4) 実習後指導 実習に関する成果と反省および今後の課題等について相互共有を行い、実習経験の充実、深化を図る。 模擬患者を用いた理学療法評価演習およびグループディスカッションを行う。 また、必要に応じレポート作成、自己評価、ケース発表等を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	臨床実習
時間割コード	0333005601
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	8.0
学年	3
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	(1)他部門からの情報収集ができる (2)代表的な疾患について検査・測定ができる (3)経験した対象者の問題点を列挙することができる (4)経験した対象者のゴール設定ができる (5)経験した対象者の治療プログラムを立案することができる (6)専門職としてチームワークの必要性を経験する
履修上の注意事項	事前の準備を十分に行い、実習実施に関しては指導者（CE）の指導に従うこと。特に、指示されていないことは勝手に実施しないこと。リスク管理を十分行い事故・怪我等が発生しないよう細心・最善の注意を払うこと。 学内で勉強した既有知識が必要になるため、予習を必ず行うこと。また実習後は、習った知識を定着させるため、デイリーノートなどを活用し、復習を必ず行うこと。 特に事前準備に十分な学修時間を充てること。
評価方法	臨床実習 結果報告および実習記録・レポートなどの提出物、実習前・後指導における参加および理解度を考慮しつつ、臨床実習理学療法評価技術確認試験にて評価する。なお、実習前・後指導、実習において無断欠席は認められない。また、欠席が出席すべき日数を超えた場合には、評価を受ける資格を失うので注意すること。実習前・後指導において随時、知識・技術並びにレポートなど提出物のフィードバックを行う。
テキスト	特に指定しない
参考文献	特に指定しない
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
1) 実習前指導（3年次臨床実習 実習前） 臨床実習の目的、意義、心得等、実習に必要な項目について事前にオリエンテーションを行う。また、実習施設への手続き等の実地的な指導を行う。 模擬患者を用いた理学療法評価演習およびグループディスカッションを行う。 臨床実習 に臨む準備（取り組み）が十分であるか否かを判断するために学力・実技試験および面接を必要に応じて実施する。 < 注意 > 事前指導を受けなかった者は履修許可を取り消す。 また、事前指導を受けた者においても、参加状況あるいは取り組みが不十分で、臨床実習 の履修に問題が生じると予想される場合は、学科会議の審議を経て学科長が履修の許可を取り消すことがある。 2) 臨床実習（3年次2学期 8週間） 実習施設の指導者（CE）のもとで実習を行う。 3) 臨床実習理学療法評価技術確認試験 臨床実習 で経験した評価が記載された「理学療法評価技術チェックリスト」を基に理学療法評価、治療に関する知識、技術を確認する。 4) 実習後指導 実習に関する成果と反省および今後の課題等について相互共有を行い、実習経験の充実、深化を図る。 模擬患者を用いた理学療法評価演習およびグループディスカッションを行う。 また、レポート作成、自己評価、ケース発表等を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	臨床実習
時間割コード	0333005701
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	8.0
学年	4
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美、川俣 幹雄、濱田 輝一、森下 志子、大浦 佳子、岡田 裕隆、大池 貴行、二宮 省悟、吉田 勇一、中野 聡太、山本 良平、角園 恵、今井 孝樹、吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	(1)経験した対象者のゴール設定ができる (2)経験した対象者の治療プログラムを立案することができる (3)指導者の指導の下、必要に応じてプログラムを修正することができる (4)指導者の指導の下、比較的シンプルな障害に対し治療を実施できる (5)治療内容、経過等について記録報告ができる (6)専門職としてチームワークの必要性を経験する
履修上の注意事項	事前の準備を十分に行い、実習実施に関しては指導者（CE）の指導に従うこと。特に、指示されていないことは勝手に実施しないこと。リスク管理を十分行い事故・怪我等が発生しないよう細心・最善の注意を払うこと。
評価方法	臨床実習理学療法評価技術確認試験（60%）、臨床実習 結果報告および実習記録・レポートなどの提出物、実習前・後指導における参加および理解度、最終学力確認試験（40%）で評価する。なお、実習前・後指導、実習において無断欠席は認められない。また、欠席が出席すべき日数を超えた場合には、評価を受ける資格を失うので注意すること。事前・事後指導において随時、知識・技術並びにレポートなど提出物のフィードバックを行う
テキスト	特に指定しない
参考文献	特に指定しない
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	* 当科目担当教員 全員が理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
1) 実習前指導（4年次臨床実習 実習前） 臨床実習の目的、意義、心得等、実習に必要な項目について事前にオリエンテーションを行う。また、実習施設への手続き等の実際的な指導を行う。 模擬患者を用いた理学療法評価演習およびグループディスカッションを行う。 臨床実習 に臨む準備（取り組み）が十分であるか否かを判断するために学力・実技試験および面接を必要に応じて実施する。 < 注意 > 事前指導を受けなかった者は履修許可を取り消す。 また、事前指導を受けた者においても、参加状況あるいは取り組みが不十分で、臨床実習 の履修に問題が生じると予想される場合は、学科会議の審議を経て学科長が履修の許可を取り消すことがある。 2) 臨床実習（4年次1学期 8週間） 実習施設の指導者（CE）のもとで実習を行う。 3) 臨床実習理学療法評価技術確認試験 臨床実習 で経験した評価が記載された「理学療法評価技術チェックリスト」を基に理学療法評価、治療に関する知識、技術を確認する。 4) 実習後指導 実習に関する成果と反省および今後の課題等について相互共有を行い、実習経験の充実、深化を図る。 模擬患者を用いた理学療法評価演習およびグループディスカッションを行う。 また、レポート作成、自己評価、ケース発表等を行う。 5) 最終学力確認（全臨床実習終了後） 学内・学外のすべての履修が終了する状況において、臨床に赴くに相応しい学力を兼ね備えているかは重要な要素である。よって最終学力評価を実施する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005801
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
肥後 成美

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として、自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	症例検討会では、自分の意見や疑問を積極的に発言すること。仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。 卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。卒業論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。
評価方法	科目への態度・取組30%、卒業論文50%、症例発表20%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時に適宜提示する。
参考文献	必要時に適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005803
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、卒業研究論文作成に必要な、研究計画立案、データ収集・処理、研究成果の発表（プレゼンテーション）、卒業研究論文作成を行い、医療における研究の意義と方法について学ぶ。
履修上の注意事項	卒業研究論文は、指導教員が指定する執筆要綱および規定に従い作成すること。 また決められた手続きを経て、期日内に提出しなければならない。 指定された期日内に卒業研究論文の提出がない場合は、評価を受ける資格を失う(再履修となる)ので注意すること。 研究テーマの設定においては、事前に必ず文献のレビューを行ってください。 ゼミでの学修以外に研究計画、文献検索、論文執筆等に十分な時間を充てること。
評価方法	卒業研究論文60%、学科プレゼンテーション40%で評価する。 研究計画の修正等については、適宜フィードバックする。
テキスト	その都度、提示する。
参考文献	その都度、提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
理学療法における研究の意義、研究計画の立案、文献抄録、データ収集、統計解析、図表作成、論文作成、プレゼンテーション等についてゼミ形式で学ぶ。各ゼミのテーマごとに、予習2時間程度、復習2時間程度を行うこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005804
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	濱田 輝一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
濱田 輝一

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文に必要な 研究計画を立案、 データ収集・処理や必要な情報の収集・整理統合、 研究成果の発表（プレゼンテーション）、 研究論文の作成を行う。この研究による成果報告を通して、 卒後の疑問解決ができる方略を学ぶ。
履修上の注意事項	卒業研究論文は、グループでの協力が不可欠である。互いに建設的に協力し、計画的に行動すること。計画に併せ、十分に準備としての予習復習(合計15時間:毎回2時間)をすること。卒業研究論文は、リハビリテーション学科の卒業研究論文執筆要綱および規定に従い作成すること。卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。また決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。指定された期日内に卒業研究論文の提出がない場合は、評価を受ける資格を失う(再履修となる)ので注意すること。
評価方法	卒業研究論文60%、学科プレゼンテーション40%で評価する。ただし、ゼミへの課題取組・成果を20%の範囲で成績に反映させる(評点より20%の範囲で減点する)。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	その都度提示する。
参考文献	その都度提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	濱田輝一：理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005805
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	大池 貴行
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大池 貴行

詳細情報

授業の目的・到達目標	共同研究者との連携にて円滑に学術活動できるよう、卒業論文に必要な 研究計画を立案， データ収集・処理， 研究成果の発表（プレゼンテーション）， 研究論文の作成、それぞれの各過程の意義・手順を学ぶ。 本科目を通して、学修者は ~ の研究プロセスを実践できるようになる。
履修上の注意事項	卒業研究論文は、リハビリテーション学科の卒業研究論文執筆要綱および規定に従い作成すること。 また決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。 指定された期日内に卒業研究論文の提出がない場合は、評価を受ける資格を失う（再履修となる）ので注意すること。事前学習として、呼吸循環系の解剖および運動生理学、統計学を理解しておくこと。また、復習を徹底すること。
評価方法	卒業研究論文60%、学科プレゼンテーション40%で評価する。ただし、ゼミへの取り組み（課題や文献抄読など）を20%の範囲で成績に反映させる（評点より20%の範囲で減点する）。 なお、プレゼンテーション、論文作成ではディスカッションを通して、助言等のコメントをする。
テキスト	その都度提示する。
参考文献	その都度提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者：大池 * 医療機関にて理学療法士として呼吸・循環障害を有する患者の呼吸循環系理学療法に携わる経験あり * 呼吸・循環系理学療法に関する学術活動を行い、呼吸リハビリテーションを専門とする

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	研究概要（研究の必要性、研究テーマ、研究プロセス）		
2	研究テーマの検討		
3	研究テーマの検討		
4	先行研究の調査1（日本語論文の抄読）		
5	先行研究の調査1（日本語論文の抄読）		
6	先行研究の調査2（英語論文の抄読）		
7	研究計画1（スケジュール、リソースの検討）		
8	研究計画2（対象、方法、仮説の検討）		
9	研究計画3（研究計画書作成）		
10	パイロットスタディ1～2		
11	パイロットスタディ1～2		
12	研究計画4（研究デザイン修正の検討）		
13	実験1～5		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	実験 1 ～ 5		
15	実験 1 ～ 5		
16	実験 1 ～ 5		
17	実験 1 ～ 5		
18	データ解析 1（グラフ化、統計）		
19	データ解析 2（仮説との検証）		
20	論文作成 1（序論、方法、結果）		
21	論文作成 2（考察、結語）		
22	論文作成 3（要旨、考察、結語）		
23	研究発表 プレゼンテーション 1 ～ 3		
24	研究発表 プレゼンテーション 1 ～ 3		
25	研究発表 プレゼンテーション 1 ～ 3		
26	論文作成 5（校正）		
27	論文作成 6（校正）		
28	卒業研究発表		
29	論文作成 7（校正）		
30	論文作成 8（最終校正）		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005807
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	二宮 省悟
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
二宮 省悟

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文に必要な 研究計画を立案（先行研究論文の調査を含む）、データ収集・処理、研究成果の発表（プレゼンテーション）、研究論文の作成ができる。
履修上の注意事項	卒業研究論文は、リハビリテーション学科の卒業研究論文執筆要綱及び規定に従い作成し、決められた手続きを経て期日内に教務課へ提出しなければならない。指定された期日内に卒業研究論文の提出がない場合は、評価を受ける資格を失う（再履修となる）ので注意すること。各講義前には、論文やテキストを読み予習を行うこと。 また研究活動や実験後には、まとめを行うと共に、復習を必ず行うこと。（予習＋復習：120分）
評価方法	卒業研究論文作成100%で評価する。ただし、ゼミへの取り組みを40%の範囲で成績に反映させる（評点より40%の範囲で減点する）。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	担当教員が必要時適宜指示する
参考文献	担当教員が必要時適宜指示する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	二宮：理学療法分野にて学会発表、論文執筆経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	研究論文の概説		
2	研究計画の立案（スケジュール作成）		
3	テーマ決め		
4	研究目的の作成		
5	先行研究の調査（直接的な関連のある論文）		
6	先行研究の調査（間接的な関連のある論文）		
7	研究方法について（対象・場所・測定方法）		
8	研究方法について（機材・統計処理法）		
9	データ収集（プレ実験：A班）		
10	データ収集（プレ実験：B班）		
11	データ収集（プレ実験：C班）		
12	データ収集（プレ実験：E班）		
13	データ集計		
14	データ分析・方法論の修正		
15	データ収集（本実験：A班）		
16	データ収集（本実験：B班）		
17	データ収集（本実験：C班）		
18	データ収集（本実験：D班）		
19	データ集計（プレ実験＆本実験）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
20	データ分析（プレ実験＆本実験）		
21	データ分析（処理・結果）		
22	データ分析（表・図の作成）		
23	考察・結論の作成		
24	本研究の今後の課題について		
25	卒業論文作成（序論・方法・結果）		
26	卒業論文作成（考察・結論）		
27	プレゼンテーション（原稿・スライド作成）		
28	プレゼンテーション（予行演習）		
29	プレゼンテーション（研究成果の発表）		
30	卒業研究論文振り返り・まとめ		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005808
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	大浦 佳子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
大浦 佳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文に必要な 研究計画を立案、 データ収集・処理や必要な情報の収集・整理統合、 研究成果の発表（プレゼンテーション）、 研究論文の作成を行う。
履修上の注意事項	卒業研究論文は、リハビリテーション学科の卒業研究論文執筆要綱および規定に従い作成すること。 また決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。 指定された期日内に卒業研究論文の提出がない場合は、評価を受ける資格を失う(再履修となる)ので注意すること。研究テーマの設定においては、事前に必ず文献のレビューを行ってください。また、復習を徹底すること。
評価方法	卒業研究論文60%、学科プレゼンテーション40%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	その都度提示する。
参考文献	その都度提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005809
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	森下 志子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
森下 志子

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	症例検討会では、自分の意見や疑問を積極的に発言すること。仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。 卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。卒業論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、卒業論文50%、症例発表20%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005810
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	岡田 裕隆
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
岡田 裕隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として、自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	症例検討会では、自分の意見や疑問を積極的に発言すること、仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。 卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。卒業論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、卒業論文50%、症例発表20%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
・各回について以下のように事前・事後の学習を行う。 事前：研究関連文献を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間）。 事後：しっかりと研究指導ノートを整理し、わからない用語は調べて理解する（2時間）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005811
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	吉田 勇一
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
吉田 勇一

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として、自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	実習 の症例を基礎にした症例研究方法について指導するので、実習 で症例研究できるように予習をしておくこと。また、ゼミ指導時に提示する課題も確実に予習しておくこと。症例検討会では、自分の意見や疑問を積極的に発言すること、仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。ゼミや症例検討会で学んだことを確実に復習して卒業論文を執筆し、決められた手続きを経て期日内に教務課へ提出すること。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、卒業論文50%、症例発表20%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
実習 の症例を基礎にした症例研究方法について指導するので、実習 で症例研究できるように予習をしておくこと。また、ゼミ指導時に提示する課題も確実に予習しておくこと。症例検討会では、自分の意見や疑問を積極的に発言すること、仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。ゼミや症例検討会で学んだことを確実に復習して卒業論文を執筆し、決められた手続きを経て期日内に教務課へ提出すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005812
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	中野 聡太
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
中野 聡太

詳細情報

授業の目的・到達目標	論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として、自ら考え行動する能力を養う。 研究計画の立案、 情報収集、 論文の作成、 成果発表、を行う。
履修上の注意事項	自分の意見や疑問を積極的に発言すること、仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。 卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。 作成した論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、論文作成50%、成果発表20%で評価する。 なお課題に対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務の経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005809
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	森下 志子
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
森下 志子

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	症例検討会では、自分の意見や疑問を積極的に発言すること。仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。 卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。卒業論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、卒業論文50%、症例発表20%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員：理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005814
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	今井 孝樹
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
今井 孝樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	共同研究者と連携し、卒業論文に必要な「研究計画を立案」、「データ収集・処理」、「論文作成」、「発表」を行う。本科目を通して、将来理学療法士として、自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	卒業研究論文は、リハビリテーション学科の卒業研究論文執筆要綱および規定に従い作成すること。 作成した論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。 指定された期日内に卒業研究論文の提出がない場合は、評価を受ける資格を失う（再履修となる）ので注意すること。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、論文作成50%、成果発表20%で評価する。 なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は理学療法士として病院勤務の経験がある。

授業計画

授業計画
1) 4～5月：研究計画の立案 2) 6月～8月：情報収集、論文の作成 3) 9月～10月：論文の作成、成果発表準備 4) 11月～12月：成果発表、卒業研究論文提出、まとめ

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0333005815
開講所属	看護福祉学部リハビリテーション学科
ターム・学期	2021年度 第 1 学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	吉里 雄伸
科目区分	専門科目 リハビリテーション学科専門科目

担当教員情報

教員名
吉里 雄伸

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を完成させることを通じて、将来理学療法士として、自ら考え行動する能力を養う。
履修上の注意事項	自分の意見や疑問を積極的に発言すること、仲間の意見をじっくり傾聴する姿勢で臨むこと。 卒業研究論文における関連分野の予習・復習を徹底すること。卒業論文は、決められた手続きを経て、期日内に教務課へ提出しなければならない。
評価方法	科目への態度・取り組み30%、卒業論文50%、症例発表20%で評価する。なお課題レポートに対し、ディスカッションを通して助言やフィードバックを行う。
テキスト	必要時適宜指示する。
参考文献	必要時適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
1) 4月：研究計画の立案 2) 5月～8月：情報収集、論文の作成 3) 9月～10月：論文の作成、成果発表準備 4) 11月～12月：成果発表、卒業研究論文提出、まとめ

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			